

注3

大学番号：228

[平成28年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

認可

関西福祉科学大学 教育学部 教育学科

注2

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人玉手山学園

令和元年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 運営企画室

職名・氏名 室長 永井 洋一

電話番号 072-978-0088

（夜間） 072-942-0153

F A X 072-978-0377

e-mail ynagai@tamateyama.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

() 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成31年4月2日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

教育学部

＜教育学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	9
3. 施設・設備の整備状況、経費	31
4. 既設大学等の状況	33
5. 教員組織の状況	35
6. 附帯事項等に対する履行状況等	62
7. その他全般的事項	64
8. 別紙資料	69

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人玉手山学園

(2) 大学名

関西福祉科学大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒582-0026

大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(エバタ ゲンジ) 江端 源治 (平成15年4月1日)	(フリガナ) 氏名 (現職就任年月)	
学長	(ハッタ タケシ) 八田 武志 (平成26年4月1日)		
学部長	(ハヤシ リュウヘイ) 林 龍平 (平成28年4月1日)		
学科長等	(ハヤシ リュウヘイ) 林 龍平 (平成28年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成30年度に報告済の内容 → (30)

令和元年度に報告する内容 → (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合（令和元年度までの5年間）ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。（修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。）
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
教育学部	教育学・保育学関係	年	人	年次	人	
教育学科		4	100	— 人	400	
子ども教育専攻		4	50	—	200	
発達支援教育専攻 学士（教育学）		4	50	—	200	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

教育学科

対象年度 区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 100 (0) [0]	人 —	人 100 (0) [0]	人 —	人 100 (0) [0]	人 —	人 100 (0) [0]	人 —	0.78倍	倍	
志願者数	201 (0) [0]	(—) (—) [—]	174 (0) [0]	(—) (—) [—]	171 (0) [0]	(—) (—) [—]	206 (0) [0]	(—) (—) [—]			
受験者数	196 (0) [0]	(—) (—) [—]	169 (0) [0]	(—) (—) [—]	166 (0) [0]	(—) (—) [—]	202 (0) [0]	(—) (—) [—]			
合格者数	169 (0) [0]	(—) (—) [—]	158 (0) [0]	(—) (—) [—]	156 (0) [0]	(—) (—) [—]	196 (0) [0]	(—) (—) [—]			
B 入学者数	81 (0) [0]	(—) (—) [—]	80 (0) [0]	(—) (—) [—]	71 (0) [0]	(—) (—) [—]	82 (0) [0]	(—) (—) [—]			
入学定員超過率 B/A	0.81		0.80		0.71		0.82				

教育学科 子ども教育専攻

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	50 (0) [0]		50 (0) [0]		50 (0) [0]		50 (0) [0]		0.55倍	倍	
志願者数	78 (0) [0]	(-) [-]	67 (0) [0]	(-) [-]	67 (0) [0]	(-) [-]	97 (0) [0]	(-) [-]			
受験者数	75 (0) [0]	(-) [-]	65 (0) [0]	(-) [-]	64 (0) [0]	(-) [-]	95 (0) [0]	(-) [-]			
合格者数	64 (0) [0]	(-) [-]	63 (0) [0]	(-) [-]	60 (0) [0]	(-) [-]	93 (0) [0]	(-) [-]			
B 入学者数	25 (0) [0]	(-) [-]	27 (0) [0]	(-) [-]	25 (0) [0]	(-) [-]	33 (0) [0]	(-) [-]			
入学定員超過率 B/A	0.50		0.54		0.50		0.66				

教育学科 発達支援教育専攻

区分	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度		平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度まで の平均入学定 員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	50 (0) [0]		50 (0) [0]		50 (0) [0]		50 (0) [0]		1.02倍	倍	
志願者数	123 (0) [0]	(-) [-]	107 (0) [0]	(-) [-]	104 (0) [0]	(-) [-]	109 (0) [0]	(-) [-]			
受験者数	121 (0) [0]	(-) [-]	104 (0) [0]	(-) [-]	102 (0) [0]	(-) [-]	107 (0) [0]	(-) [-]			
合格者数	105 (0) [0]	(-) [-]	95 (0) [0]	(-) [-]	96 (0) [0]	(-) [-]	103 (0) [0]	(-) [-]			
B 入学者数	56 (0) [0]	(-) [-]	53 (0) [0]	(-) [-]	46 (0) [0]	(-) [-]	49 (0) [0]	(-) [-]			
入学定員超過率 B/A	1.12		1.06		0.92		0.98				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ () 内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
 ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

教育学科

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度				備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	81 [-] (-)	- [-] (-)	80 [-] (-)	0 [-] (-)	72 [-] (-)	0 [-] (-)	82 [-] (-)	0 [-] (-)			・平成29年度2年次生には、他学部からの転学部生1名を含む(29) ・平成30年度1年次生には、他学部からの転学部生1名を含む(30) ・令和元年度2年次生には、他学部からの転学部生1名を含む(元)
2年次	/		80 [-] (-)	0 [-] (-)	79 [-] (-)	0 [-] (-)	69 [-] (-)	0 [-] (-)			
3年次	/		/		76 [-] (-)	0 [-] (-)	74 [-] (-)	0 [-] (-)			
4年次	/		/		/		76 [-] (-)	0 [-] (-)			
計	81 [-] (-)		160 [-] (-)		227 [-] (-)		301 [-] (-)				

教育学科 子ども教育専攻

対象年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度				備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	25 [-] (-)	- [-] (-)	27 [-] (-)	0 [-] (-)	26 [-] (-)	0 [-] (-)	33 [-] (-)	0 [-] (-)			・平成29年度2年次生には、他学部からの転学部生1名を含む(29) ・平成30年度1年次生には、他学部からの転学部生1名を含む(30)
2年次	/		26 [-] (-)	0 [-] (-)	26 [-] (-)	0 [-] (-)	25 [-] (-)	0 [-] (-)			
3年次	/		/		25 [-] (-)	0 [-] (-)	26 [-] (-)	0 [-] (-)			
4年次	/		/		/		25 [-] (-)	0 [-] (-)			
計	25 [-] (-)		53 [-] (-)		77 [-] (-)		109 [-] (-)				

教育学科 発達支援教育専攻

学年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		令和元年度				備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	56 [-] (-)	- [-] (-)	53 [-] (-)	0 [-] (-)	46 [-] (-)	0 [-] (-)	49 [-] (-)	0 [-] (-)			・令和元年度2年次生には、他学部からの転学部生1名を含む(元)
2年次	/		54 [-] (-)	0 [-] (-)	53 [-] (-)	0 [-] (-)	44 [-] (-)	0 [-] (-)			
3年次	/		/		51 [-] (-)	0 [-] (-)	48 [-] (-)	0 [-] (-)			
4年次	/		/		/		51 [-] (-)	0 [-] (-)			
計	56 [-] (-)		107 [-] (-)		150 [-] (-)		192 [-] (-)				

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

教育学科

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	81人	2人	平成28年度	2人	0人	就学意欲の低下(2人)
平成29年度	160人	5人	平成28年度	4人	0人	就学意欲の低下(2人)、他の教育機関への入学・転学(1人)、就職(1人)
			平成29年度	1人	0人	他の教育機関への入学・転学(1人)
平成30年度	227人	9人	平成28年度	0人	0人	-
			平成29年度	5人	0人	就職(2人)、就学意欲の低下(1名)、他の教育機関への入学・転学(1名)、家庭の事情(1名)
			平成30年度	4人	0人	就学意欲の低下(2人)、他の教育機関への入学・転学(2名)
令和元年度	301人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
合計		16人		人	人	

教育学科 子ども教育専攻

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	25人	0人	平成28年度	0人	0人	-
平成29年度	53人	2人	平成28年度	1人	0人	就学意欲の低下(1人)
			平成29年度	1人	0人	他の教育機関への入学・転学(1人)
平成30年度	77人	1人	平成28年度	0人	0人	-
			平成29年度	0人	0人	-
			平成30年度	1人	0人	他の教育機関への入学・転学(1人)
令和元年度	109人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
合計		3人		人	人	

教育学科 発達支援教育専攻

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成28年度	56 人	2 人	平成28年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(2人)
平成29年度	107 人	3 人	平成28年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、他の教育機関への入学・転学(1人)、就職(1人)
			平成29年度	0 人	0 人	-
平成30年度	150 人	8 人	平成28年度	0 人	0 人	-
			平成29年度	5 人	0 人	就職(2人)、就学意欲の低下(1名)、他の教育機関への入学・転学(1名)、家庭の事情(1名)
			平成30年度	3 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、他の教育機関への入学・転学(1名)
令和元年度	192 人	人	平成28年度	人	人	
			平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
合 計		13 人		人	人	

(注)・ 数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

教育学科

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{81} = \boxed{2.46} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{5}{160} = \boxed{3.12} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{9}{227} = \boxed{3.96} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{301} = \boxed{0.00} \%$$

教育学科 子ども教育専攻

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{25} = \boxed{0.00} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{53} = \boxed{3.77} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{77} = \boxed{1.29} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{109} = \boxed{0.00} \%$$

教育学科 発達支援教育専攻

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{56} = \boxed{3.57} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{3}{107} = \boxed{2.80} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{8}{150} = \boxed{5.33} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{192} = \boxed{0.00} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

＜教育学部 教育学科 子ども教育専攻＞

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ	1前	2				3	1				兼21	
	基礎ゼミナールⅡ	1後	2				3	1				兼21	
	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			1	6	3					
	基礎ゼミナールⅣ	2後	2			1	6	3					
総合教養	総合教養Ⅰ-河内学-	1前	2				1					兼8	
	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後	2									兼8	
	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前	2			1	2					兼11	
	総合教養Ⅳ-栄養-	1後	2									兼14	
言語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2									兼3	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2									兼3	
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2									兼3	
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2									兼3	
	総合英語Ⅰ	1前	2									兼1	
	総合英語Ⅱ	1後	2									兼1	
	総合英語Ⅲ	1前	2									兼1	
	総合英語Ⅳ	1後	2									兼1	
	オールラウンドコミュニケーション	1前	2									兼1	
	フランス語Ⅰ	1前	2									兼1	
フランス語Ⅱ	1後	2									兼1		
情報と伝達	情報処理Ⅰ	1前	1									兼2	
	情報処理Ⅱ	1後	1									兼2	
基礎分野	コンピュータサイエンス	2前	2									兼1	
	保健体育	1前	1									兼1	
	体育実技	1後	1									兼2	
	地理学	1後	2									兼1	
	化学入門	1前	1									兼1	
	基礎数学	1前	1									兼1	
	生物学入門	1前	1			1							
	物理学入門	1後	1									兼1	
	基礎科学概論	1前	2									兼2	
	生命科学概論	1前	2			1						兼1	
	統計学	1後	1									兼1	
	人間と社会	哲学	1前	2									兼1
		人間学	1後	2									兼1
倫理学		1後	2									兼1	
心理学		1前	2									兼1	
法学		1前	2									兼1	
日本国憲法		1後	2									兼1	
人権教育		1前	2									兼1	
経済学		1前	2									兼1	
政治学		1前	2									兼1	
社会学		1後	2									兼1	
国際関係論		1後	2									兼1	
現代史		1後	2									兼1	
外国史		1前	2									兼1	
日本史		1後	2									兼1	
外国語で親しむ心理学		2前	2									兼1	
社会福祉概論		1前	2									兼1	
疲労とストレスの科学		3前	2									兼1	
キャリア教育	キャリアデザイン	2前	1			1	1					兼9	
	教師のキャリア発達	3前	1			5		2					
	小計(53科目)	-	20	75	0	8	6	3	0	0		兼71	
	人間関係論	2前	2									兼1	
レクリエーション論	2前	2									兼1		
公的扶助論	3後	2									兼1		
障害者福祉論	3前	2									兼1		
コミュニティ心理学	3前	2									兼1		
神経心理学	3前	2									兼1		
健康心理学	2前	2									兼1		

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ	1前	2				1	2	1			兼19	
	基礎ゼミナールⅡ	1後	2				1	2	1			兼19	
	基礎ゼミナールⅢ	2前	2				2	5	3				
	基礎ゼミナールⅣ	2後	2				2	5	3				
総合教養	総合教養Ⅰ-河内学-	1前	2				1					兼8	
	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後	2									兼8	
	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前	2			1	2					兼12	
	総合教養Ⅳ-栄養-	1後	2									兼14	
言語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2									兼9	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2									兼9	
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2									兼8	
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2									兼9	
	総合英語Ⅰ	1前	2									兼1	
	総合英語Ⅱ	1後	2									兼1	
	総合英語Ⅲ (未開講)	1前	2									兼1	
	総合英語Ⅳ	1後	2									兼1	
	オールラウンドコミュニケーション	1前	2									兼1	
	フランス語Ⅰ	1前	2									兼1	
フランス語Ⅱ	1後	2									兼1		
情報と伝達	情報処理Ⅰ	1前	1									兼3	
	情報処理Ⅱ	1後	1									兼3	
基礎分野	コンピュータサイエンス (未開講)	2前	2									兼1	
	保健体育	1前	1									兼1	
	体育実技	1後	1									兼2	
	地理学	1後	2									兼1	
	化学入門	1前	1									兼1	
	基礎数学	1前	1									兼1	
	生物学入門	1前	1			1							
	物理学入門	1後	1									兼1	
	基礎科学概論	1前	2									兼2	
	生命科学概論	1前	2			1						兼1	
	統計学	1後	1									兼1	
	人間と社会	哲学	1前	2									兼1
		人間学	1後	2									兼1
倫理学		1後	2									兼1	
心理学		1前	2									兼1	
法学		1前	2									兼1	
日本国憲法		1後	2									兼1	
人権教育		1前	2									兼1	
経済学		1前	2									兼1	
政治学		1前	2									兼1	
社会学		1後	2									兼1	
国際関係論		1後	2									兼1	
現代史		1後	2									兼1	
外国史		1前	2									兼1	
日本史		1後	2									兼1	
外国語で親しむ心理学 (未開講)		2前	2									兼1	
社会福祉概論		1前	2									兼1	
疲労とストレスの科学		3前	2									兼1	
キャリア教育	キャリアデザイン	2前	1					1				兼8	
	教師のキャリア発達	3前	1					5	2				
	小計(53科目)	-	20	75	0		9	5	3	0	0	兼79	
	人間関係論	2前	2									兼1	
レクリエーション論	2前	2									兼1		
公的扶助論	3後	2									兼1		
障害者福祉論	3前	2									兼1		
コミュニティ心理学	3前	2									兼1		
神経心理学	3前	2									兼1		
健康心理学	2前	2									兼1		

専門共通科目	人格心理学	1前	2										兼1
	ポジティブ心理学	3前	2										兼1
	家族関係論	4前	2		1								
	幼保小連携 I (現状と課題)	4前	2	2		1							
	幼保小連携 II (実践)	4後	2				2						
小計 (12科目)	-	0	24	0	2	1	3	0	0				兼8
子ども教育専攻 専門科目	保育原理	1後	2	1									
	教育原理	1前	2	1									
	教育制度論	3後	2	1									
	児童家庭福祉	1前	2										兼1
	社会福祉	1後	2										兼1
	相談援助	2後	1		1								
	社会的養護	2前	2										兼1
	保育者論	1前	2										兼2
	保育方法論	2前	2										兼2
	保育の環境教育	4前	2			1							
	生涯発達心理学 I (学びの過程)	1前	2			1							
	生涯発達心理学 II (支援・援助)	1後	1		1								
	子どもの保健 I	2前	2										兼1
	子どもの保健 II	2後	2										兼1
	子どもの保健 III	3前	1										兼1
	子どもの食と栄養	3後	2		1								
	家庭支援論	3前	2			1							
	幼児理解の理論と方法	3前	2										兼1
	教育相談の基礎	3前	2			1							
	子どもの健康と安全	3後	2										兼2
	保育教育課程論	1後	2		1								
	保育内容総論	2前	2		1								
	保育内容演習 (健康)	2後	2			1							兼1
	保育内容演習 (人間関係)	2後	2			1							兼1
	保育内容演習 (環境)	2後	2				1						
	保育内容演習 (言葉)	2前	2										兼1
	保育内容演習 (表現 I)	2前	2			1							
	保育内容演習 (表現 II)	3前	2		1								兼1
	保育指導の実際	3後	2		1	1							
	乳児保育	2後	2										兼1
	障害児保育	1後	2										兼1
	社会的養護内容	4前	1										兼1
	保育相談支援	3後	1			1							
	幼児国語	1前	2		1								
	幼児算数	2前	2				1						
	幼児生活	1後	2				1						
	幼児音楽	1前	1		1								
	幼児体育	1後	1										兼1
	幼児図画工作	1後	1			1							
	ソルフェージュ	1前	1		1								
	ピアノ I (基礎)	2前	1		1								
	ピアノ II (発展)	2後	1		1								
	児童文学	3前	2		1								
	児童文化	3後	2		1								
	国語表現法	2後	1		1								
子ども英語	3後	2										兼1	
課題実践研究	4前	2		1	3	1							
学習・発達論	2後	2		1									
保育と発達支援	1前	2			1								
子育て支援論	2前	2			1							兼2	
教育実習 (幼稚園)	3前	4		2								兼2	
教育実習事前事後指導 (幼稚園)	3前・後	1		2								兼2	
保育教職実践演習 (幼稚園)	4後	2		1	1							兼1	
保育実習 I (保育所)	2後	2			2								
保育実習 I (施設)	3後	2			2								
保育実習 II	4前	2			2								
保育実習 III	4前	2			2								
保育実習指導 I (保育所)	2後・3前	1			2								
保育実習指導 I (施設)	3後・4前	1			2								
保育実習指導 II	4前・後	1			2								
保育実習指導 III	4前・後	1			2								
教育哲学	4後	2										兼1	
学習心理学	2前	2		1									

専門共通科目	人格心理学	1前	2										兼1
	ポジティブ心理学	3前	2										兼1
	家族関係論	4前	2		1								
	幼保小連携 I (現状と課題)	4前	2	2		1							
	幼保小連携 II (実践)	4後	2				2						
小計 (12科目)	-	0	24	0	2	1	3	0	0				兼8
子ども教育専攻 専門科目	保育原理	1後	2	1									
	教育原理	1前	2	1									
	教育制度論	3後	2	1									
	児童家庭福祉	1前	2										兼1
	社会福祉	1後	2										兼1
	相談援助	2後	1			1							
	社会的養護	2前	2										兼1
	保育者論	1前	2				1						
	保育方法論	2前	2										兼1
	保育の環境教育	4前	2				1						
	生涯発達心理学 I (学びの過程)	1前	2				1						
	子ども家庭支援の心理学	3後	2										兼1
	生涯発達心理学 II (支援・援助)	1後	1		1								
	幼児特別支援教育論	3後	2										兼1
	子どもの保健 I	2前	2										兼1
	子どもの保健 II	2後	2										兼1
	子どもの保健 III	3前	1										兼1
	子どもの食と栄養	3後	2		1								
	家庭支援論	3前	2			1							
	幼児理解の理論と方法	3前	2										兼2
	教育相談の基礎	3前	2					2					
	子どもの健康と安全	3後	2										兼2
	保育教育課程論	1後	2		1								
	保育内容総論	2前	2		1								
	保育内容演習 (健康)	2後	2			1							兼1
	保育内容演習 (人間関係)	2後	2			1							兼2
	保育内容演習 (環境)	2後	2				1						
	保育内容演習 (言葉)	2前	2										兼1
	保育内容演習 (表現 I)	2前	2			1							
	保育内容演習 (表現 II)	3前	2										兼1
	保育指導の実際	3後	2		1	1							
	乳児保育 I	2後	2										兼1
	乳児保育 II	3前	2										兼1
	障害児保育	1後	2										兼1
	社会的養護内容	4前	1										兼1
	保育相談支援	3後	1			1							
	幼児国語	1前	2		1								
	幼児算数	2前	2				1						
	幼児生活	1後	2				1						
	幼児音楽	1前	1		1								
	幼児体育	1後	1										兼1
	幼児図画工作	1後	1			1							
	ソルフェージュ	1前	1		1								
	ピアノ I (基礎)	2前	1		1								
	ピアノ II (発展)	2後	1		1								
児童文学	3前	2		1									
児童文化	3後	2		1									
国語表現法	2後	1		1									
子ども英語	3後	2										兼1	
課題実践研究 (未開講)	4前	2		1	3	1							
学習・発達論	2後	2		1									
保育と発達支援	1前	2			1								
子育て支援論	2前	2			1							兼2	
教育実習 (幼稚園)	3前	4		2								兼2	
教育実習事前事後指導 (幼稚園)	3前・後	1		2								兼2	
保育教職実践演習 (幼稚園)	4後	2		1	1							兼1	
保育実習 I (保育所)	2後	2			2								
保育実習 I (施設)	3後	2			2								
保育実習 II	4前	2			2								
保育実習 III	4前	2			2								
保育実習指導 I (保育所)	2後・3前	1			2								
保育実習指導 I (施設)	3後・4前	1			2								
保育実習指導 II	4前・後	1			2								
保育実習指導 III	4前・後	1			2								
教育哲学	4後	2										兼1	
学習心理学	2前	2		1									

	異文化理解と教育	4前	2	1									
	特別支援教育の基礎	1前	2		1								
	知的障害者の心理	1後	2		1								
	知的障害者の生理・病理	1後	2		1								
	障害のアセスメント	2前	2		1								
	自閉症スペクトラム障害概論	2前	2		1								
	学習障害・注意欠陥多動性障害概論	2後	2		1								
	教育学入門	1後	2		1								
	生涯学習論	3後	1									兼1	
	教育福祉論	3後	1									兼1	
	研究演習Ⅰ	3前	2		10								
	研究演習Ⅱ	3後	2		10								
	研究演習Ⅲ	4前	2		10								
	研究演習Ⅳ	4後	2		10								
	小計(77科目)	-	12	125	0	13	6	3	0	0		兼19	
	合計(142科目)	-	32	224	0	13	6	3	0	0		兼87	

両専攻共通開設
専門科目

卒業要件及び履修方法

基礎分野から必修科目を含め24単位以上、専門共通科目及び専門科目から必修科目を含め100単位以上、合計124単位以上修得すること。
 なお、子ども教育専攻については、上記の必修科目のほか、保育原理、教育原理、保育者論、生涯発達心理学Ⅰ(学びの過程)、生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助)、保育教育課程論、保育内容総論、保育と発達支援、子育て支援論の全ての単位を修得すること。
 また、発達支援教育専攻については、上記の必修科目のほか、教職概論、教育原論、教育心理学の全ての単位を修得すること。
 (履修科目の登録の上限:24単位(半期))

	異文化理解と教育	4前	2	1									
	特別支援教育の基礎	1前	2		1								
	知的障害者の心理	1後	2		1								
	知的障害者の生理・病理	1後	2		1								
	障害のアセスメント	2前	2		1								
	自閉症スペクトラム障害概論	2前	2		1								
	学習障害・注意欠陥多動性障害概論	2後	2		1								
	教育学入門	1前	2		1								
	生涯学習論	3後	1									兼1	
	教育福祉論	3後	1									兼1	
	研究演習Ⅰ	3前	2		10								
	研究演習Ⅱ	3後	2		10								
	研究演習Ⅲ	4前	2		10								
	研究演習Ⅳ	4後	2		10								
	小計(80科目)	-	12	131	0	13	6	3	0	0		兼22	
	合計(145科目)	-	32	230	0	13	6	3	0	0		兼99	

両専攻共通開設
専門科目

卒業要件及び履修方法

基礎分野から必修科目を含め24単位以上、専門共通科目及び専門科目から必修科目を含め100単位以上、合計124単位以上修得すること。
 なお、子ども教育専攻については、上記の必修科目のほか、保育原理、教育原理、保育者論、生涯発達心理学Ⅰ(学びの過程)、生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助)、保育教育課程論、保育内容総論、保育と発達支援、子育て支援論の全ての単位を修得すること。
 また、発達支援教育専攻については、上記の必修科目のほか、教職概論、教育原論、教育心理学の全ての単位を修得すること。
 (履修科目の登録の上限:24単位(半期))

【平成28年度】

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ	1前	2				3	1			兼19	
	基礎ゼミナールⅡ	1後	2				3	1			兼19	
	基礎ゼミナールⅢ	2前	2		1	6		3				
	基礎ゼミナールⅣ	2後	2		1	6		3				
総合教養	総合教養Ⅰ-河内学-	1前	2			1					兼8	
	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後	2								兼8	
	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前	2			1	2				兼12	
	総合教養Ⅳ-栄養-	1後	2								兼14	
言語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2								兼9	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2								兼9	
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2								兼3	
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2								兼3	
	総合英語Ⅰ	1前	2								兼1	
	総合英語Ⅱ	1後	2								兼1	
	総合英語Ⅲ	1前	2								兼1	
	総合英語Ⅳ	1後	2								兼1	
	オーラルコミュニケーション	1前	2								兼1	
	フランス語Ⅰ	1前	2								兼1	
	フランス語Ⅱ	1後	2								兼1	
	中国語Ⅰ	1前	2								兼1	
	中国語Ⅱ	1後	2								兼1	
	情報と伝達	情報処理Ⅰ	1前	1								兼3
		情報処理Ⅱ	1後	1								兼3
		コンピュータサイエンス	2前	2								兼1
スポーツ	保健体育	1前	1								兼1	
	体育実技	1後	1								兼2	
自然と科学	地理学	1後	2								兼1	
	化学入門	1前	1								兼1	
	基礎数学	1前	1								兼1	
	生物学入門	1前	1		1							
	物理学入門	1後	1								兼1	
	基礎科学概論	1前	2								兼2	
	生命科学概論	1前	2		1						兼1	
	統計学	1後	1								兼1	
	人間と社会	哲学	1前	2								兼1
		人間学	1後	2								兼1
		倫理学	1後	2								兼1
		心理学	1前	2								兼1
法学		1前	2								兼1	
日本国憲法		1後	2								兼1	
人権教育		1前	2								兼1	
経済学		1前	2								兼1	
政治学		1前	2								兼1	
社会学		1後	2								兼1	
国際関係論		1後	2								兼1	
現代史		1後	2								兼1	
外国史		1前	2								兼1	
日本史		1後	2								兼1	
外国語で親しむ心理学		2前	2								兼1	
社会福祉概論		1前	2								兼1	
疲労とストレスの科学		3前	2								兼1	
キャリア		キャリアデザイン	2前	1			1					兼9
		教師のキャリア発達	3前	1			5		2			
小計(53科目)			-	20	75	0	9	6	3	0	0	兼81
専門共通科目	人間関係論	2前	2								兼1	
	レクリエーション論	2前	2								兼1	
	公的扶助論	3後	2								兼1	
	障害者福祉論	3前	2								兼1	
	コミュニティ心理学	3前	2								兼1	
	神経心理学	3前	2								兼1	
	健康心理学	2前	2								兼1	
	人格心理学	1前	2								兼1	
	ポジティブ心理学	3前	2								兼1	
	家族関係論	4前	2			1						
	幼保小連携Ⅰ(現状と課題)	4前	2		2			1				
	幼保小連携Ⅱ(実践)	4後	2					2				
小計(12科目)			-	0	24	0	2	1	3	0	0	兼8

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ	1前	2			1	2		1			兼18	
	基礎ゼミナールⅡ	1後	2			1	2		1			兼18	
	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			2	5		3				
	基礎ゼミナールⅣ	2後	2			2	5		3				
総合教養	総合教養Ⅰ-河内学-	1前	2			1						兼8	
	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後	2									兼8	
	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前	2			1	2					兼12	
	総合教養Ⅳ-栄養-	1後	2									兼14	
言語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2									兼9	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2									兼9	
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2									兼9	
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2									兼9	
	総合英語Ⅰ	1前	2									兼1	
	総合英語Ⅱ	1後	2									兼1	
	総合英語Ⅲ	1前	2									兼1	
	総合英語Ⅳ	1後	2									兼1	
	オーラルコミュニケーション	1前	2									兼1	
	フランス語Ⅰ	1前	2									兼1	
	フランス語Ⅱ	1後	2									兼1	
	中国語Ⅰ	1前	2									兼1	
	中国語Ⅱ	1後	2									兼1	
	情報と伝達	情報処理Ⅰ	1前	1									兼3
		情報処理Ⅱ	1後	1									兼3
		コンピュータサイエンス	2前	2									兼1
スポーツ	保健体育	1前	1									兼1	
	体育実技	1後	1									兼2	
自然と科学	地理学	1後	2									兼1	
	化学入門	1前	1									兼1	
	基礎数学	1前	1									兼1	
	生物学入門	1前	1		1								
	物理学入門	1後	1									兼1	
	基礎科学概論	1前	2									兼2	
	生命科学概論	1前	2		1							兼1	
	統計学	1後	1									兼1	
	人間と社会	哲学	1前	2									兼1
		人間学	1後	2									兼1
		倫理学	1後	2									兼1
		心理学	1前	2									兼1
法学		1前	2									兼1	
日本国憲法		1後	2									兼1	
人権教育		1前	2									兼1	
経済学		1前	2									兼1	
政治学		1前	2									兼1	
社会学		1後	2									兼1	
国際関係論		1後	2									兼1	
現代史		1後	2									兼1	
外国史		1前	2									兼1	
日本史		1後	2									兼1	
外国語で親しむ心理学		2前	2									兼1	
社会福祉概論		1前	2									兼1	
疲労とストレスの科学		3前	2									兼1	
キャリア		キャリアデザイン	2前	1			1						兼9
		教師のキャリア発達	3前	1			5		2				
小計(53科目)			-	20	75	0	9	5	3	0	0	兼81	
専門共通科目	人間関係論	2前	2									兼1	
	レクリエーション論	2前	2									兼1	
	公的扶助論	3後	2									兼1	
	障害者福祉論	3前	2									兼1	
	コミュニティ心理学	3前	2									兼1	
	神経心理学	3前	2									兼1	
	健康心理学	2前	2									兼1	
	人格心理学	1前	2									兼1	
	ポジティブ心理学	3前	2									兼1	
	家族関係論	4前	2			1							
	幼保小連携Ⅰ(現状と課題)	4前	2		2			1					
	幼保小連携Ⅱ(実践)	4後	2					2					
小計(12科目)			-	0	24	0	2	1	3	0	0	兼8	

	保育原理	1後	2	1										
	教育原理	1前	2	1										
	教育制度論	3後	2	1										
	児童家庭福祉	1前	2										兼1	
	社会福祉	1後	2										兼1	
	相談援助	2後	1		1									
	社会的養護	2前	2										兼1	
	保育者論	1前	2										兼1	
	保育方法論	2前	2										兼1	
	保育の環境教育	4前	2			1								
	生涯発達心理学Ⅰ(学びの過程)	1前	2		1									
	生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助)	1後	1		1									
	子どもの保健Ⅰ	2前	2										兼1	
	子どもの保健Ⅱ	2後	2										兼1	
	子どもの保健Ⅲ	3前	1										兼1	
	子どもの食と栄養	3後	2		1									
	家庭支援論	3前	2		1									
	幼児理解の理論と方法	3前	2										兼1	
	教育相談の基礎	3前	2		2									
	子どもの健康と安全	3後	2										兼2	
	保育教育課程論	1後	2										兼1	
	保育内容総論	2前	2		1									
	保育内容演習(健康)	2後	2		1								兼1	
	保育内容演習(人間関係)	2後	2										兼2	
	保育内容演習(環境)	2後	2			1								
	保育内容演習(言葉)	2前	2										兼1	
	保育内容演習(表現Ⅰ)	2前	2		1									
	保育内容演習(表現Ⅱ)	3前	2										兼1	
	保育指導の実際	3後	2		1	1								
	乳児保育	2後	2										兼1	
	障害児保育	1後	2										兼1	
	社会的養護内容	4前	1										兼1	
	保育相談支援	3後	1		1									
	幼児国語	1前	2		1									
	幼児算数	2前	2			1								
	幼児生活	1後	2			1								
	幼児音楽	1前	1		1									
	幼児体育	1後	1										兼1	
	幼児図画工作	1後	1			1								
	ソルフェージュ	1前	1		1									
	ピアノⅠ(基礎)	2前	1		1									
	ピアノⅡ(発展)	2後	1		1									
	児童文学	3前	2		1									
	児童文化	3後	2		1									
	国語表現法	2後	1		1									
	子ども英語	3後	2										兼1	
	課題実践研究	4前	2		1	3	1							
	学習・発達論	2後	2		1									
	保育と発達支援	1前	2			1								
	子育て支援論	2前	2			1							兼2	
	教育実習(幼稚園)	3前	4		2								兼2	
	教育実習事前事後指導(幼稚園)	3前・後	1		2								兼2	
	保育教職実践演習(幼稚園)	4後	2		1	1							兼1	
	保育実習Ⅰ(保育所)	2後	2			2								
	保育実習Ⅰ(施設)	3後	2			2								
	保育実習Ⅱ	4前	2			2								
	保育実習Ⅲ	4前	2			2								
	保育実習指導Ⅰ(保育所)	2後・3前	1			2								
	保育実習指導Ⅰ(施設)	3後・4前	1			2								
	保育実習指導Ⅱ	4前・後	1			2								
	保育実習指導Ⅲ	4前・後	1			2								
	教育哲学	4後	2										兼1	
	学習心理学	2前	2		1									
	異文化理解と教育	4前	2		1									
	特別支援教育の基礎	1前	2			1								
	知的障害者の心理	1後	2			1								
	知的障害者の生理・病理	1後	2			1								
	障害のアセスメント	2前	2			1							1	
	自閉症スペクトラム障害概論	2前	2			1							1	
	学習障害・注意欠陥多動性障害概論	2後	2			1							1	
	教育学入門	1前	2		1									
	生涯学習論	3後	1											兼1

	保育原理	1後	2	1										
	教育原理	1前	2	1										
	教育制度論	3後	2	1										
	児童家庭福祉	1前	2										兼1	
	社会福祉	1後	2										兼1	
	相談援助	2後	1		1									
	社会的養護	2前	2										兼1	
	保育者論	1前	2		1								兼1	
	保育方法論	2前	2										兼1	
	保育の環境教育	4前	2			1								
	生涯発達心理学Ⅰ(学びの過程)	1前	2		1									
	生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助)	1後	1		1									
	子どもの保健Ⅰ	2前	2										兼1	
	子どもの保健Ⅱ	2後	2										兼1	
	子どもの保健Ⅲ	3前	1										兼1	
	子どもの食と栄養	3後	2		1									
	家庭支援論	3前	2		1									
	幼児理解の理論と方法	3前	2										兼1	
	教育相談の基礎	3前	2		2									
	子どもの健康と安全	3後	2										兼2	
	保育教育課程論	1後	2										兼1	
	保育内容総論	2前	2		1									
	保育内容演習(健康)	2後	2		1								兼1	
	保育内容演習(人間関係)	2後	2										兼2	
	保育内容演習(環境)	2後	2			1								
	保育内容演習(言葉)	2前	2										兼1	
	保育内容演習(表現Ⅰ)	2前	2		1									
	保育内容演習(表現Ⅱ)	3前	2										兼1	
	保育指導の実際	3後	2		1	1								
	乳児保育	2後	2										兼1	
	障害児保育	1後	2										兼1	
	社会的養護内容	4前	1										兼1	
	保育相談支援	3後	1		1									
	幼児国語	1前	2		1									
	幼児算数	2前	2			1								
	幼児生活	1後	2			1								
	幼児音楽	1前	1		1									
	幼児体育	1後	1										兼1	
	幼児図画工作	1後	1			1								
	ソルフェージュ	1前	1		1									
	ピアノⅠ(基礎)	2前	1		1									
	ピアノⅡ(発展)	2後	1		1									
	児童文学	3前	2		1									
	児童文化	3後	2		1									
	国語表現法	2後	1		1									
	子ども英語	3後	2										兼1	
	課題実践研究	4前	2		1	3	1							
	学習・発達論	2後	2		1									
	保育と発達支援	1前	2			1								
	子育て支援論	2前	2			1							兼2	
	教育実習(幼稚園)	3前	4		2								兼2	
	教育実習事前事後指導(幼稚園)	3前・後	1		2								兼2	
	保育教職実践演習(幼稚園)	4後	2		1	1							兼1	
	保育実習Ⅰ(保育所)	2後	2			2								
	保育実習Ⅰ(施設)	3後	2			2								
	保育実習Ⅱ	4前	2			2								
	保育実習Ⅲ	4前	2			2								
	保育実習指導Ⅰ(保育所)	2後・3前	1			2								
	保育実習指導Ⅰ(施設)	3後・4前	1			2								
	保育実習指導Ⅱ	4前・後	1			2								
	保育実習指導Ⅲ	4前・後	1			2								
	教育哲学	4後	2										兼1	
	学習心理学	2前	2		1									
	異文化理解と教育	4前	2		1									
	特別支援教育の基礎	1前	2			1								
	知的障害者の心理	1後	2			1								
	知的障害者の生理・病理	1後	2			1								
	障害のアセスメント	2前	2			1							1	
	自閉症スペクトラム障害概論	2前	2			1							1	
	学習障害・注意欠陥多動性障害概論	2後	2			1							1	
	教育学入門	1前	2		1									
	生涯学習論	3後	1											兼1

専門科目 両専攻共通開設	教育福祉論	3後		1															兼1
	研究演習Ⅰ	3前	2			10													
	研究演習Ⅱ	3後	2			10													
	研究演習Ⅲ	4前	2			10													
	研究演習Ⅳ	4後	2			10													
	小計(77科目)	-	12	125	0	13	6	2	0	0									
合計(142科目)	-	32	224	0	13	6	3	0	0										兼101
卒業要件及び履修方法																			
<p>基礎分野から必修科目を含め24単位以上、専門共通科目及び専門科目から必修科目を含め100単位以上、合計124単位以上修得すること。</p> <p>なお、子ども教育専攻については、上記の必修科目のほか、保育原理、教育原理、保育者論、生涯発達心理学Ⅰ(学びの過程)、生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助)、保育教育課程論、保育内容総論、保育と発達支援、子育て支援論の全ての単位を修得すること。</p> <p>また、発達支援教育専攻については、上記の必修科目のほか、教職概論、教育原論、教育心理学の全ての単位を修得すること。</p> <p>(履修科目の登録の上限:24単位(半期))</p>																			

専門科目 両専攻共通開設	教育福祉論	3後		1															兼1
	研究演習Ⅰ	3前	2			10				11									
	研究演習Ⅱ	3後	2			10				11									
	研究演習Ⅲ	4前	2			10				11									
	研究演習Ⅳ	4後	2			10				11									
	小計(77科目)	-	12	125	0	13	6	2	0	0									
合計(142科目)	-	32	224	0	13	6	3	0	0										兼101
卒業要件及び履修方法																			
<p>基礎分野から必修科目を含め24単位以上、専門共通科目及び専門科目から必修科目を含め100単位以上、合計124単位以上修得すること。</p> <p>なお、子ども教育専攻については、上記の必修科目のほか、保育原理、教育原理、保育者論、生涯発達心理学Ⅰ(学びの過程)、生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助)、保育教育課程論、保育内容総論、保育と発達支援、子育て支援論の全ての単位を修得すること。</p> <p>また、発達支援教育専攻については、上記の必修科目のほか、教職概論、教育原論、教育心理学の全ての単位を修得すること。</p> <p>(履修科目の登録の上限:24単位(半期))</p>																			

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ	1前	2			1	2	1				兼19	
	基礎ゼミナールⅡ	1後	2			1	2	1				兼19	
	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			2	5	3					
	基礎ゼミナールⅣ	2後	2			2	5	3					
総合教養	総合教養Ⅰ-河内学-	1前	2			1						兼8	
	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後	2									兼8	
	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前	2			1	2					兼12	
	総合教養Ⅳ-栄養-	1後	2									兼14	
言語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2									兼9	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2									兼9	
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2									兼8	
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2									兼8	
	総合英語Ⅰ	1前	2									兼1	
	総合英語Ⅱ	1後	2									兼1	
	総合英語Ⅲ	1前	2									兼1	
	総合英語Ⅳ	1後	2									兼1	
	オーラルコミュニケーション	1前	2									兼1	
	フランス語Ⅰ	1前	2									兼1	
	フランス語Ⅱ	1後	2									兼1	
	中国語Ⅰ	1前	2									兼1	
	中国語Ⅱ	1後	2									兼1	
	情報と伝達	情報処理学Ⅰ	1前	1									兼3
		情報処理学Ⅱ	1後	1									兼3
	スポーツ	コンピュータサイエンス	2前	2									兼1
保健体育		1前	1									兼1	
基礎分野	体育実技	1後	1									兼2	
	地理学	1後	2									兼1	
	化学入門	1前	1									兼1	
	基礎数学	1前	1									兼1	
	生物学入門	1前	1		1								
	物理学入門	1後	1									兼1	
	基礎科学概論	1前	2									兼2	
	生命科学概論	1前	2		1							兼1	
	統計学	1後	1									兼1	
	哲学	1前	2									兼1	
	人間学	1後	2									兼1	
	倫理学	1後	2									兼1	
	心理学	1前	2									兼1	
	法学	1前	2									兼1	
	日本国憲法	1後	2									兼1	
	人権教育	1前	2									兼1	
経済学	1前	2									兼1		
政治学	1前	2									兼1		
社会学	1後	2									兼1		
国際関係論	1後	2									兼1		
現代史	1後	2									兼1		
外国史	1前	2									兼1		
日本史	1後	2									兼1		
外国語で親しむ心理学	2前	2									兼1		
社会福祉概論	1前	2									兼1		
疲労とストレスの科学	3前	2									兼1		
キャリアデザイン	2前	1				1					兼9		
教師のキャリア発達	3前	1			5		2						
小計(53科目)			-	20	75	0	9	6	3	0	0	兼82	
専門共通科目	人間関係論	2前	2									兼1	
	レクリエーション論	2前	2									兼1	
	公的扶助論	3後	2									兼1	
	障害者福祉論	3前	2									兼1	
	コミュニティ心理学	3前	2									兼1	
	神経心理学	3前	2									兼1	
	健康心理学	2前	2									兼1	
	人格心理学	1前	2									兼1	
	ポジティブ心理学	3前	2									兼1	
	家族関係論	4前	2				1						
	幼保小連携Ⅰ(現状と課題)	4前	2		2			1					
	幼保小連携Ⅱ(実践)	4後	2						2				
小計(12科目)			-	0	24	0	2	1	3	0	0	兼8	

専攻科目 子ども教育専攻	保育原理	1後	2	1					
	教育原理	1前	2	1					
	教育制度論	3後	2	1					
	児童家庭福祉	1前	2						兼1
	社会福祉	1後	2						兼1
	相談援助	2後	1		1				
	社会的養護	2前	2						兼1
	保育者論	1前	2	1					
	保育方法論	2前	2						兼1
	保育の環境教育	4前	2			1			
	生涯発達心理学Ⅰ（学びの過程）	1前	2		1				
	生涯発達心理学Ⅱ（支援・援助）	1後	1	1					
	子どもの保健Ⅰ	2前	2						兼2
	子どもの保健Ⅱ	2後	2						兼1
	子どもの保健Ⅲ	3前	1						兼1
	子どもの食と栄養	3後	2	1					
	家庭支援論	3前	2		1				
	幼児理解の理論と方法	3前	2						兼1
	教育相談の基礎	3前	2		2				
	子どもの健康と安全	3後	2						兼2
	保育教育課程論	1後	2						兼1
	保育内容総論	2前	2	1					
	保育内容演習（健康）	2後	2		1				兼1
	保育内容演習（人間関係）	2後	2						兼2
	保育内容演習（環境）	2後	2			1			
	保育内容演習（言葉）	2前	2						兼1
	保育内容演習（表現Ⅰ）	2前	2		1				
	保育内容演習（表現Ⅱ）	3前	2						兼1
	保育指導の実際	3後	2	1	1				
	乳児保育Ⅰ	2後	2						兼1
	障害児保育	1後	2						兼1
	社会的養護内容	4前	1						兼1
	保育相談支援	3後	1		1				
	幼児国語	1前	2		1				
	幼児算数	2前	2			1			
	幼児生活	1後	2			1			
	幼児音楽	1前	1	1					
	幼児体育	1後	1						兼1
	幼児図画工作	1後	1		1				
	ソルフェージュ	1前	1	1					
	ピアノⅠ（基礎）	2前	1	1					
	ピアノⅡ（発展）	2後	1	1					
	児童文学	3前	2	1					
	児童文化	3後	2	1					
	国語表現法	2後	1	1					
	子ども英語	3後	2						兼1
	課題実践研究	4前	2	1	3	1			
	学習・発達論	2後	2	1					
	保育と発達支援	1前	2		1				
	子育て支援論	2前	2		1				兼2
教育実習（幼稚園）	3前	4	2					兼2	
教育実習事前事後指導（幼稚園）	3前・後	1	2					兼2	
保育教職実践演習（幼稚園）	4後	2	1	1				兼1	
保育実習Ⅰ（保育所）	2後	2		2					
保育実習Ⅰ（施設）	3後	2		2					
保育実習Ⅱ	4前	2		2					
保育実習Ⅲ	4前	2		2					
保育実習指導Ⅰ（保育所）	2後・3前	1		2					
保育実習指導Ⅰ（施設）	3後・4前	1		2					
保育実習指導Ⅱ	4前・後	1		2					
保育実習指導Ⅲ	4前・後	1		2					
専攻共通開設	教育哲学	4後	2					兼1	
	学習心理学	2前	2	1					
	異文化理解と教育	4前	2	1					
	特別支援教育の基礎	1前	2	1					
	知的障害者の心理	1後	2		1				
	知的障害者の生理・病理	1後	2	1					
	障害のアセスメント	2前	2		1				
	自閉症スペクトラム障害概論	2前	2		1				
	学習障害・注意欠陥多動性障害概論	2後	2		1				
	教育学入門	1前	2	1					
	生涯学習論	3後	1					兼1	

専攻 共通 開設	教育福祉論	3後		1															兼1
	研究演習Ⅰ	3前	2			11													
	研究演習Ⅱ	3後	2			11													
	研究演習Ⅲ	4前	2			11													
	研究演習Ⅳ	4後	2			11													
	小計(77科目)	-	12	125	0	13	6	2	0	0									兼23
	合計(142科目)	-	32	224	0	13	6	3	0	0									兼104
卒業要件及び履修方法																			
<p>基礎分野から必修科目を含め24単位以上、専門共通科目及び専門科目から必修科目を含め100単位以上、合計124単位以上修得すること。</p> <p>なお、子ども教育専攻については、上記の必修科目のほか、保育原理、教育原理、保育者論、生涯発達心理学Ⅰ(学びの過程)、生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助)、保育教育課程論、保育内容総論、保育と発達支援、子育て支援論の全ての単位を修得すること。</p> <p>また、発達支援教育専攻については、上記の必修科目のほか、教職概論、教育原論、教育心理学の全ての単位を修得すること。</p> <p>(履修科目の登録の上限:24単位(半期))</p>																			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

<教育学部 教育学科 子ども教育専攻>

【平成28年度】

- ・兼任教員2名が就任を辞退したが現員で対応可能なため「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」について、後任補充なし（兼21→19）
- ・教育内容の充実を図るため「総合教養Ⅲ-健康の世界-」について、オムニバスの担当者1名を追加（兼11→12）
- ・全学共通で授業を運営するため「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」について、担当教員を追加（兼3→9）
- ・教育内容の充実を図るため「情報処理Ⅰ、Ⅱ」について、担当教員を増員しクラス数を追加（兼2→3）
- ・教職課程認定申請の審査意見に伴い「保育者論」について、担当者を変更（兼2→1）すると共に授業の方式を単独に変更
- ・教職課程認定申請の審査意見に伴い「保育方法論」について担当者を変更（兼2→1）すると共に授業の方式を単独に変更
- ・教職課程認定審査の審査意見に伴い「教育相談の基礎教員」について専任教員1名を追加（准教授1→2）しオムニバス方式に変更（平成29年3月AC教員審査提出予定）
- ・教職課程認定申請の審査意見に伴い「保育教育課程論」について担当者を変更（教授1→0、兼0→1）
- ・教職課程認定申請の審査意見に伴い「保育内容演習（人間関係）」について担当者を変更（准教授1→0、兼1→2）
- ・教職課程認定申請の審査意見に伴い「保育内容演習（表現Ⅱ）」について担当者を変更（教授1→0、兼0→1）
- ・留意事項3.に対応し「教育学入門」について開講時期を1後から1前へ変更

【平成29年度】

- ・教学運営を円滑に行うため「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」について、専任教員の担当科目の見直しを行った。兼任教員1名が就任を辞退したが現員で対応可能なため後任補充なし（専任教員 島田恭仁（教授）平成28年11月 教員審査判定「可」。教授0→1、准教授3→2、兼19→18）
- ・教学運営を円滑に行うため「基礎ゼミナールⅢ、Ⅳ」について、専任教員の担当科目の見直しを行った（専任教員 島田恭仁（教授）平成28年11月 教員審査判定「可」教授1→2、准教授6→5）
- ・全学共通で授業を運営するため「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」について、担当教員を追加（兼3→9）
- ・教学運営を円滑に行うため「キャリアデザイン」について、担当科目を見直しを行った。現員で対応可能なため後任補充なし（教授1→0）
- ・平成29年3月専任教員退職に伴い「幼保小連携Ⅰ（現状と課題）」について、専任教員を変更（専任教員 橋川喜美代（教授）平成29年1月 教員審査判定「可」）
- ・平成29年3月専任教員退職に伴い「保育原理」について、専任教員を変更（専任教員 橋川喜美代（教授）平成29年1月 教員審査判定「可」）
- ・平成29年3月専任教員退職に伴い「保育者論」について、専任教員を追加（専任教員 橋川喜美代（教授）平成29年1月 教員審査判定「可」。教授0→1、兼2→1）
- ・「教育相談の基礎」について、平成28年11月AC教員審査提出（専任教員 築地（吉岡）典絵（准教授）平成28年11月 教員審査判定「可」）
- ・平成29年3月専任教員退職に伴い「保育内容総論」について、専任教員を変更（専任教員 橋川喜美代（教授）平成29年1月 教員審査判定「可」）
- ・平成29年3月専任教員退職に伴い「保育指導の実際」について、専任教員を変更（専任教員 橋川喜美代（教授）平成29年1月 教員審査判定「可」）
- ・平成29年3月専任教員退職に伴い「教育実習（幼稚園）」について、専任教員を変更（専任教員 橋川喜美代（教授）平成29年1月 教員審査判定「可」）
- ・平成29年3月専任教員退職に伴い「教育実習事前事後指導（幼稚園）」について、専任教員を変更（専任教員 橋川喜美代（教授）平成29年1月 教員審査判定「可」）
- ・平成29年3月専任教員退職に伴い「保育教職実践演習（幼稚園）」について、専任教員を変更（専任教員 橋川喜美代（教授）平成29年1月 教員審査判定「可」）
- ・平成29年3月専任教員退職に伴い「研究演習Ⅰ～Ⅳ」について、専任教員の変更及び教学運営を円滑に行うため専任教員の追加（専任教員 橋川喜美代（教授）平成29年1月 教員審査判定「可」、専任教員 島田恭仁（教授）平成28年11月 教員審査判定「可」。教授10→11）

【平成30年度】

- ・「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」について、全学共通で授業を運営するため担当教員を追加。（兼18→19）
- ・「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」について、全学共通で授業を運営するため、担当教員を減員。現員で対応可能なため後任補充なし（兼9→8）
- ・「子どもの保健Ⅰ」について、兼任教員1名の就任に伴う変更。（兼1→2、オムニバス）

【令和元年度】

- ・「英語コミュニケーションⅣ」について、教育内容の充実を図るため、担当教員を増員しクラス数を追加。（兼8→9）
- ・「キャリアデザイン」について、教学運営を円滑に行うため担当科目の見直しを行った。現員で対応可能なため後任補充なし（兼9→8）
- ・「子どもの保健Ⅰ」について、兼任教員1名が就任を辞退したが現員で対応可能なため後任補充なし。（兼2→1、オムニバス→単独）
- ・「幼児理解の理論と方法」について、授業内容の充実を図るため兼任教員1名を追加し授業形態をオムニバスとした。（兼1→兼2、単独→オムニバス）
- ・「保育教育課程論」について、兼任教員1名の就任辞退に伴い担当者を専任教員に変更。（専任教員 橋川喜美代（教授）平成30年11月 教員審査判定「可」）変更。
- ・「保育教職実践演習（幼稚園）」について、兼任教員1名が就任を辞退したが現員で対応可能なため後任補充なし。（兼1→0）
- ・「研究演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」について、専任教員退職に伴い、担当者数変更。当面は現員で対応。（専任教員が決定次第AC教員審査提出予定）（専1→10）
- ・「幼児特別支援教育論」について、教育職員免許法改正に伴い、科目を新設。（令和3年後期開講予定）
- ・「乳児保育」について、指定保育士養成施設の指定及び運営の基準の改正に伴い、「乳児保育Ⅰ」に名称変更。（令和2年後期開講予定）
- ・「乳児保育Ⅱ」について、指定保育士養成施設の指定及び運営の基準の改正に伴い、科目を新設。（令和3年前期開講予定）
- ・「子ども家庭支援の心理学」について、指定保育士養成施設の指定及び運営の基準の改正に伴い、科目を新設。（令和3年後期開講予定）

- (注) ・ 2(1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

<教育学部 教育学科>

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	187 科目		205 科目	18 科目 [0]	191 科目 [4]		209 科目 [4]	

<教育学部 教育学科 子ども教育専攻>

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	124 科目		142 科目	18 科目 [0]	127 科目 [3]		145 科目 [3]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

2 授業科目の概要

＜教育学部 教育学科 発達支援教育専攻＞

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ	1前	2			3	1				兼21
	基礎ゼミナールⅡ	1後	2			3	1				兼21
	基礎ゼミナールⅢ	2前	2		1	6	3				
	基礎ゼミナールⅣ	2後	2		1	6	3				
総合教養	総合教養Ⅰ-河内学-	1前	2		1						兼8
	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後	2								兼8
	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前	2		1	2					兼11
	総合教養Ⅳ-栄養-	1後	2								兼14
言語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2								兼3
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2								兼3
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2								兼3
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2								兼3
	総合英語Ⅰ	1前	2								兼1
	総合英語Ⅱ	1後	2								兼1
	総合英語Ⅲ	1前	2								兼1
	総合英語Ⅳ	1後	2								兼1
	オーラルコミュニケーション	1前	2								兼1
	フランス語Ⅰ	1前	2								兼1
	フランス語Ⅱ	1後	2								兼1
	中国語Ⅰ	1前	2								兼1
中国語Ⅱ	1後	2								兼1	
情報と伝達	情報処理学Ⅰ	1前	1								兼2
	情報処理学Ⅱ	1後	1								兼2
	コンピュータサイエンス	2前	2								兼1
基礎分野	保健体育	1前	1								兼1
	体育実技	1後	1								兼2
自然と科学	地理学	1後	2								兼1
	化学入門	1前	1								兼1
	基礎数学	1前	1								兼1
	生物学入門	1前	1		1						
	物理学入門	1後	1								兼1
	基礎科学概論	1前	2								兼2
	生命科学概論	1前	2		1						兼1
	統計学	1後	1								兼1
	哲学	1前	2								兼1
	人間学	1後	2								兼1
人間と社会	倫理学	1後	2								兼1
	心理学	1前	2								兼1
	法学	1前	2								兼1
	日本国憲法	1後	2								兼1
	人権教育	1前	2								兼1
	経済学	1前	2								兼1
	政治学	1前	2								兼1
	社会学	1後	2								兼1
	国際関係論	1後	2								兼1
	現代史	1後	2								兼1
	外国史	1前	2								兼1
	日本史	1後	2								兼1
	外国語で親しむ心理学	2前	2								兼1
	社会福祉概論	1前	2								兼1
	疲労とストレスの科学	3前	2								兼1
キャリア	キャリアデザイン	2前	1		1	1					兼9
	教師のキャリア発達	3前	1		5	2					
小計 (53科目)		-	20	75	0	8	6	3	0	0	兼71
専門共通科目	人間関係論	2前	2								兼1
	レクリエーション論	2前	2								兼1
	公的扶助論	3後	2								兼1
	障害者福祉論	3前	2								兼1
	コミュニティ心理学	3前	2								兼1
	神経心理学	3前	2								兼1
健康心理学	2前	2								兼1	

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ	1前	2			1	2	1			兼19
	基礎ゼミナールⅡ	1後	2			1	2	1			兼19
	基礎ゼミナールⅢ	2前	2		1	5	3				
	基礎ゼミナールⅣ	2後	2		1	5	3				
総合教養	総合教養Ⅰ-河内学-	1前	2		1						兼8
	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後	2								兼8
	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前	2		1	2					兼12
	総合教養Ⅳ-栄養-	1後	2								兼14
言語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2								兼9
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2								兼9
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2								兼8
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2								兼9
	総合英語Ⅰ	1前	2								兼1
	総合英語Ⅱ	1後	2								兼1
	総合英語Ⅲ (未開講)	1前	2								兼1
	総合英語Ⅳ	1後	2								兼1
	オーラルコミュニケーション	1前	2								兼1
	フランス語Ⅰ	1前	2								兼1
	フランス語Ⅱ	1後	2								兼1
	中国語Ⅰ	1前	2								兼1
中国語Ⅱ	1後	2								兼1	
情報と伝達	情報処理学Ⅰ	1前	1								兼3
	情報処理学Ⅱ	1後	1								兼3
	コンピュータサイエンス (未開講)	2前	2								兼1
基礎分野	保健体育	1前	1								兼1
	体育実技	1後	1								兼2
自然と科学	地理学	1後	2								兼1
	化学入門	1前	1								兼1
	基礎数学	1前	1								兼1
	生物学入門	1前	1		1						
	物理学入門	1後	1								兼1
	基礎科学概論	1前	2								兼2
	生命科学概論	1前	2		1						兼1
	統計学	1後	1								兼1
	哲学	1前	2								兼1
	人間学	1後	2								兼1
人間と社会	倫理学	1後	2								兼1
	心理学	1前	2								兼1
	法学	1前	2								兼1
	日本国憲法	1後	2								兼1
	人権教育	1前	2								兼1
	経済学	1前	2								兼1
	政治学	1前	2								兼1
	社会学	1後	2								兼1
	国際関係論	1後	2								兼1
	現代史	1後	2								兼1
	外国史	1前	2								兼1
	日本史	1後	2								兼1
	外国語で親しむ心理学 (未開講)	2前	2								兼1
	社会福祉概論	1前	2								兼1
	疲労とストレスの科学	3前	2								兼1
キャリア	キャリアデザイン	2前	1			1					兼10
	教師のキャリア発達	3前	1		5	2					
小計 (53科目)		-	20	75	0	9	5	3	0	0	兼77
専門共通科目	人間関係論	2前	2								兼1
	レクリエーション論	2前	2								兼1
	公的扶助論	3後	2								兼1
	障害者福祉論	3前	2								兼1
	コミュニティ心理学	3前	2								兼1
	神経心理学	3前	2								兼1
健康心理学	2前	2								兼1	

	異文化理解と教育	4前		2			1													
	特別支援教育の基礎	1前	2				1													
	知的障害者の心理	1後		2				1												
	知的障害者の生理・病理	1後		2			1													
	障害のアセスメント	2前		2				1												
専門科目	自閉症スペクトラム障害概論	2前	2					1												
	学習障害・注意欠陥多動性障害概論	2後		2					1											
	教育学入門	1後		2			1													
	生涯学習論	3後		1																兼1
	教育福祉論	3後		1																兼1
	研究演習Ⅰ	3前	2							10										
	研究演習Ⅱ	3後	2							10										
	研究演習Ⅲ	4前	2							10										
	研究演習Ⅳ	4後	2							10										
		小計(79科目)	-	12	141	0	13	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計(144科目)	-	32	240	0	16	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼86
卒業要件及び履修方法																				
基礎分野から必修科目を含め24単位以上、専門共通科目及び専門科目から必修科目を含め100単位以上、合計124単位以上修得すること。 なお、子ども教育専攻については、上記の必修科目のほか、保育原理、教育原理、保育者論、生涯発達心理学Ⅰ(学びの過程)、生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助)、保育教育課程論、保育内容総論、保育と発達支援、子育て支援論の全ての単位を修得すること。 また、発達支援教育専攻については、上記の必修科目のほか、教職概論、教育原論、教育心理学の全ての単位を修得すること。 (履修科目の登録の上限:24単位(半期))																				

	異文化理解と教育	4前		2			1													
	特別支援教育の基礎	1前	2				1													
	知的障害者の心理	1後		2				1												
	知的障害者の生理・病理	1後		2			1													
	障害のアセスメント	2前		2				1												
専門科目	自閉症スペクトラム障害概論	2前	2					1												
	学習障害・注意欠陥多動性障害概論	2後		2					1											
	教育学入門	1前		2			1													
	生涯学習論	3後		1																兼1
	教育福祉論	3後		1																兼1
	研究演習Ⅰ	3前	2							10										
	研究演習Ⅱ	3後	2							10										
	研究演習Ⅲ	4前	2							10										
	研究演習Ⅳ	4後	2							10										
		小計(80科目)	-	12	143	0	13	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計(145科目)	-	32	242	0	13	6	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	兼97
卒業要件及び履修方法																				
基礎分野から必修科目を含め24単位以上、専門共通科目及び専門科目から必修科目を含め100単位以上、合計124単位以上修得すること。 なお、子ども教育専攻については、上記の必修科目のほか、保育原理、教育原理、保育者論、生涯発達心理学Ⅰ(学びの過程)、生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助)、保育教育課程論、保育内容総論、保育と発達支援、子育て支援論の全ての単位を修得すること。 また、発達支援教育専攻については、上記の必修科目のほか、教職概論、教育原論、教育心理学の全ての単位を修得すること。 (履修科目の登録の上限:24単位(半期))																				

【平成28年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ	1前	2			3	1				兼19	
	基礎ゼミナールⅡ	1後	2			3	1				兼19	
	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			1	6	3				
	基礎ゼミナールⅣ	2後	2			1	6	3				
総合教養	総合教養Ⅰ-河内学-	1前	2			1					兼8	
	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後	2								兼8	
	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前	2			1	2				兼12	
	総合教養Ⅳ-栄養-	1後	2								兼14	
言語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2								兼9	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2								兼9	
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2								兼3	
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2								兼3	
	総合英語Ⅰ	1前	2								兼1	
	総合英語Ⅱ	1後	2								兼1	
	総合英語Ⅲ	1前	2								兼1	
	総合英語Ⅳ	1後	2								兼1	
	オーラルコミュニケーション	1前	2								兼1	
	フランス語Ⅰ	1前	2								兼1	
	フランス語Ⅱ	1後	2								兼1	
	中国語Ⅰ	1前	2								兼1	
	中国語Ⅱ	1後	2								兼1	
	情報と伝達	情報処理Ⅰ	1前	1								兼3
		情報処理Ⅱ	1後	1								兼3
		コンピュータサイエンス	2前	2								兼1
基礎分野	保健体育	1前	1								兼1	
	体育実技	1後	1								兼2	
自然科学	地理学	1後	2								兼1	
	化学入門	1前	1								兼1	
	基礎数学	1前	1								兼1	
	生物学入門	1前	1	1								
	物理学入門	1後	1								兼1	
	基礎科学概論	1前	2								兼2	
	生命科学概論	1前	2		1						兼1	
	統計学	1後	1								兼1	
	哲学	1前	2								兼1	
	人間学	1後	2								兼1	
	倫理学	1後	2								兼1	
人間と社会	心理学	1前	2								兼1	
	法学	1前	2								兼1	
	日本国憲法	1後	2								兼1	
	人権教育	1前	2								兼1	
	経済学	1前	2								兼1	
	政治学	1前	2								兼1	
	社会学	1後	2								兼1	
	国際関係論	1後	2								兼1	
	現代史	1後	2								兼1	
	外国史	1前	2								兼1	
	日本史	1後	2								兼1	
	外国語で親しむ心理学	2前	2								兼1	
	社会福祉概論	1前	2								兼1	
	疲労とストレスの科学	3前	2								兼1	
キャリアデザイン	キャリアデザイン	2前	1			1	1				兼9	
	教師のキャリア発達	3前	1			5	2					
小計 (53科目)		-	20	75	0	9	6	3	0	0	兼81	
専門共通科目	人間関係論	2前	2								兼1	
	レクリエーション論	2前	2								兼1	
	公的扶助論	3後	2								兼1	
	障害者福祉論	3前	2								兼1	
	コミュニティ心理学	3前	2								兼1	
	神経心理学	3前	2								兼1	
	健康心理学	2前	2								兼1	
	人格心理学	1前	2								兼1	
	ポジティブ心理学	3前	2								兼1	
	家族関係論	4前	2			1						
	幼保小連携Ⅰ(現状と課題)	4前	2		2		1					
	幼保小連携Ⅱ(実践)	4後	2				2					
小計 (12科目)		-	0	24	0	2	1	3	0	0	兼8	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ	1前	2			1	2	1			兼18	
	基礎ゼミナールⅡ	1後	2			1	2	1			兼18	
	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			2	5	3				
	基礎ゼミナールⅣ	2後	2			2	5	3				
総合教養	総合教養Ⅰ-河内学-	1前	2			1					兼8	
	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後	2								兼8	
	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前	2			1	2				兼12	
	総合教養Ⅳ-栄養-	1後	2								兼14	
言語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2								兼9	
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2								兼9	
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2								兼9	
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2								兼9	
	総合英語Ⅰ	1前	2								兼1	
	総合英語Ⅱ	1後	2								兼1	
	総合英語Ⅲ	1前	2								兼1	
	総合英語Ⅳ	1後	2								兼1	
	オーラルコミュニケーション	1前	2								兼1	
	フランス語Ⅰ	1前	2								兼1	
	フランス語Ⅱ	1後	2								兼1	
	中国語Ⅰ	1前	2								兼1	
	中国語Ⅱ	1後	2								兼1	
	情報と伝達	情報処理Ⅰ	1前	1								兼3
		情報処理Ⅱ	1後	1								兼3
		コンピュータサイエンス	2前	2								兼1
基礎分野	保健体育	1前	1								兼1	
	体育実技	1後	1								兼2	
自然科学	地理学	1後	2								兼1	
	化学入門	1前	1								兼1	
	基礎数学	1前	1								兼1	
	生物学入門	1前	1	1								
	物理学入門	1後	1								兼1	
	基礎科学概論	1前	2								兼2	
	生命科学概論	1前	2		1						兼1	
	統計学	1後	1								兼1	
	哲学	1前	2								兼1	
	人間学	1後	2								兼1	
	倫理学	1後	2								兼1	
人間と社会	心理学	1前	2								兼1	
	法学	1前	2								兼1	
	日本国憲法	1後	2								兼1	
	人権教育	1前	2								兼1	
	経済学	1前	2								兼1	
	政治学	1前	2								兼1	
	社会学	1後	2								兼1	
	国際関係論	1後	2								兼1	
	現代史	1後	2								兼1	
	外国史	1前	2								兼1	
	日本史	1後	2								兼1	
	外国語で親しむ心理学	2前	2								兼1	
	社会福祉概論	1前	2								兼1	
	疲労とストレスの科学	3前	2								兼1	
キャリアデザイン	キャリアデザイン	2前	1			1					兼10	
	教師のキャリア発達	3前	1			5	2					
小計 (53科目)		-	20	75	0	9	5	3	0	0	兼81	
専門共通科目	人間関係論	2前	2								兼1	
	レクリエーション論	2前	2								兼1	
	公的扶助論	3後	2								兼1	
	障害者福祉論	3前	2								兼1	
	コミュニティ心理学	3前	2								兼1	
	神経心理学	3前	2								兼1	
	健康心理学	2前	2								兼1	
	人格心理学	1前	2								兼1	
	ポジティブ心理学	3前	2								兼1	
	家族関係論	4前	2			1						
	幼保小連携Ⅰ(現状と課題)	4前	2		2		1					
	幼保小連携Ⅱ(実践)	4後	2				2					
小計 (12科目)		-	0	24	0	2	1	3	0	0	兼8	

専門科目 両専攻共通開設	生涯学習論	3後	1																兼1
	教育福祉論	3後	1																兼1
	研究演習Ⅰ	3前	2			10													
	研究演習Ⅱ	3後	2			10													
	研究演習Ⅲ	4前	2			10													
	研究演習Ⅳ	4後	2			10													
小計(79科目)		-	12	141	0	13	6	2	0	0									兼23
合計(144科目)		-	32	240	0	13	6	3	0	0									兼101

卒業要件及び履修方法

基礎分野から必修科目を含め24単位以上、専門共通科目及び専門科目から必修科目を含め100単位以上、合計124単位以上修得すること。
 なお、子ども教育専攻については、上記の必修科目のほか、保育原理、教育原理、保育者論、生涯発達心理学Ⅰ(学びの過程)、生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助)、保育教育課程論、保育内容総論、保育と発達支援、子育て支援論の全ての単位を修得すること。
 また、発達支援教育専攻については、上記の必修科目のほか、教職概論、教育原論、教育心理学の全ての単位を修得すること。
 (履修科目の登録の上限:24単位(半期))

専門科目 両専攻共通開設	生涯学習論	3後	1																兼1
	教育福祉論	3後	1																兼1
	研究演習Ⅰ	3前	2			11													
	研究演習Ⅱ	3後	2			11													
	研究演習Ⅲ	4前	2			11													
	研究演習Ⅳ	4後	2			11													
小計(79科目)		-	12	141	0	13	6	3	0	0									兼33
合計(144科目)		-	32	240	0	13	6	3	0	0									兼111

卒業要件及び履修方法

基礎分野から必修科目を含め24単位以上、専門共通科目及び専門科目から必修科目を含め100単位以上、合計124単位以上修得すること。
 なお、子ども教育専攻については、上記の必修科目のほか、保育原理、教育原理、保育者論、生涯発達心理学Ⅰ(学びの過程)、生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助)、保育教育課程論、保育内容総論、保育と発達支援、子育て支援論の全ての単位を修得すること。
 また、発達支援教育専攻については、上記の必修科目のほか、教職概論、教育原論、教育心理学の全ての単位を修得すること。
 (履修科目の登録の上限:24単位(半期))

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教養	基礎ゼミナールⅠ	1前	2			1	2	1			兼19
	基礎ゼミナールⅡ	1後	2			1	2	1			兼19
	基礎ゼミナールⅢ	2前	2			2	6	3			
	基礎ゼミナールⅣ	2後	2			2	6	3			
総合教養	総合教養Ⅰ-河内学-	1前		2		1					兼8
	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-	1後		2							兼8
	総合教養Ⅲ-健康の世界-	1前		2		1	2				兼12
	総合教養Ⅳ-栄養-	1後		2							兼14
言語	英語コミュニケーションⅠ	1前	2								兼9
	英語コミュニケーションⅡ	1後	2								兼9
	英語コミュニケーションⅢ	2前	2								兼8
	英語コミュニケーションⅣ	2後	2								兼8
	総合英語Ⅰ	1前		2							兼1
	総合英語Ⅱ	1後		2							兼1
	総合英語Ⅲ	1前		2							兼1
	総合英語Ⅳ	1後		2							兼1
	オーラルコミュニケーション	1前		2							兼1
	フランス語Ⅰ	1前		2							兼1
	フランス語Ⅱ	1後		2							兼1
	中国語Ⅰ	1前		2							兼1
中国語Ⅱ	1後		2							兼1	
情報と伝達	情報処理学Ⅰ	1前	1								兼3
	情報処理学Ⅱ	1後	1								兼3
	コンピュータサイエンス	2前		2							兼1
基礎分野	保健体育	1前		1							兼1
	体育実技	1後		1							兼2
自然と科学	地理学	1後		2							兼1
	化学入門	1前		1							兼1
	基礎数学	1前		1							兼1
	生物学入門	1前		1		1					
	物理学入門	1後		1							兼1
	基礎科学概論	1前		2							兼2
	生命科学概論	1前		2		1					兼1
	統計学	1後		1							兼1
	哲学	1前		2							兼1
	人間学	1後		2							兼1
人間と社会	倫理学	1後		2							兼1
	心理学	1前		2							兼1
	法学	1前		2							兼1
	日本国憲法	1後		2							兼1
	人権教育	1前		2							兼1
	経済学	1前		2							兼1
	政治学	1前		2							兼1
	社会学	1後		2							兼1
	国際関係論	1後		2							兼1
	現代史	1後		2							兼1
	外国史	1前		2							兼1
	日本史	1後		2							兼1
	外国語で親しむ心理学	2前		2							兼1
	社会福祉概論	1前		2							兼1
疲労とストレスの科学	3前		2							兼1	
キャリア教育	キャリアデザイン	2前	1				1				兼10
	教師のキャリア発達	3前	1			5		2			
小計 (53科目)		-	20	75	0	9	5	3	0	0	兼83
専門共通科目	人間関係論	2前		2							兼1
	レクリエーション論	2前		2							兼1
	公的扶助論	3後		2							兼1
	障害者福祉論	3前		2							兼1
	コミュニティ心理学	3前		2							兼1
	神経心理学	3前		2							兼1
	健康心理学	2前		2							兼1
	人格心理学	1前		2							兼1
	ポジティブ心理学	3前		2							兼1
	家族関係論	4前		2			1				
	幼保小連携Ⅰ(現状と課題)	4前		2		2		1			
	幼保小連携Ⅱ(実践)	4後		2				2			
小計 (12科目)		-	0	24	0	2	1	3	0	0	兼8

	教職概論	1前	2	1					
	教育原論	1後	2	1					
	学校経営論	3前	2	1					
	教育課程論	1後	2						兼1
	教育行政学	4前	2	1					
	教育心理学	1後	2	1					
	道徳教育論	3前	2						兼1
	特別活動の指導法	2前	2	1					
	教育の方法と技術	1後	2	1					
	生徒・進路指導論	3前	2						兼1
	教育相談の理論と方法	3前	2		2				
	子どもと自然	4前	2	1					
	消費者教育学	4前	2	1					
	総合学習の演習	4前	1	1					
	学級づくりの理論と実際	3後	2			2			
	授業づくりの内容と方法	3後	2	3					
	保護者との協働体制づくりの実践	4後	2	1		1			
	教職基礎演習Ⅰ（場面指導・教科）	3後	2			2			
	教職基礎演習Ⅱ（教科）	4前	2	1		1			
	国語（小）	1前	2	1					
	社会（小）	1前	2	1					
	算数（小）	2前	2			1			
	理科（小）	1前	2	1					
	生活（小）	2前	2	1					
	音楽（小）	1後	2	1					
	図画工作（小）	1前	2		1				
	家庭（小）	2前	2	1					
	体育（小）	1前	2			1			
	初等英語	2前	2						兼1
	初等教科教育法（国語）	2後	2	1					
	初等教科教育法（社会）	2後	2	1					
	初等教科教育法（算数）	2後	2			1			
	初等教科教育法（理科）	2後	2						兼1
	初等教科教育法（生活）	3前	2	1					
	初等教科教育法（音楽）	2後	2						兼1
	初等教科教育法（図画工作）	2後	2		1				
	初等教科教育法（家庭）	3前	2	1					
	初等教科教育法（体育）	2前	2			1			
	初等教科教育法（英語）	3後	2						兼1
	初等教材研究A（国語）	3前	2	1					
	初等教材研究B（社会）	3後	2	1					
	初等教材研究C（算数）	3後	2			1			
	教育実習（小学校）	3前	4	1		2			
	教育実習事前事後指導（小学校）	前・後	1	2					
	教職実践演習（小学校）	4後	2	3					
	肢体不自由者の心理・生理・病理	2後	2	1					
	病弱者の心理・生理・病理	2後	2	1					
	知的障害者教育論	2前	2		1				
	肢体不自由教育論	4前	2						兼1
	病弱教育の理論と実際	3前	2						兼1
	知的障害者の指導基礎論	3後	2		1				
	知的障害者教育論演習	3後	2		1				
	特別支援教育実践演習	4後	2	2	2				
	知的・発達障害者の継続教育論	4前	2		1				
	視覚障害教育総論	3後	2						兼1
	聴覚障害教育総論	3後	2						兼1
	言語障害教育概論	3後	2						兼1
	情緒障害教育概論	3後	1						兼1
	重度重複障害教育概論	3後	1						兼1
	発達障害児の指導法	2後	2	1	2				
	発達障害児の指導法演習	3前	2	1	2				
	特別支援教育実習	4前	2	2	2				
	特別支援教育実習事前事後指導	前・後	1	2	2				
	教育哲学	4後	2						兼1
	学習心理学	2前	2	1					
	異文化理解と教育	4前	2	1					
	特別支援教育の基礎	1前	2	1					
	知的障害者の心理	1後	2		1				
	知的障害者の生理・病理	1後	2	1					
	障害のアセスメント	2前	2		1				
	自閉症スペクトラム障害概論	2前	2		1				
	学習障害・注意欠陥多動性障害概論	2後	2		1				
	教育学入門	1前	2	1					
	生涯学習論	3後	1						兼1

専 門 科 目	教育福祉論	3後		1								兼1
	研究演習Ⅰ	3前	2			11						
	研究演習Ⅱ	3後	2			11						
	研究演習Ⅲ	4前	2			11						
	研究演習Ⅳ	4後	2			11						
	小計(79科目)	-	12	141	0	13	6	3	0	0	0	兼33
	合計(144科目)	-	32	240	0	13	6	3	0	0	0	兼115
卒業要件及び履修方法												
<p>基礎分野から必修科目を含め24単位以上、専門共通科目及び専門科目から必修科目を含め100単位以上、合計124単位以上修得すること。</p> <p>なお、子ども教育専攻については、上記の必修科目のほか、保育原理、教育原理、保育者論、生涯発達心理学Ⅰ(学びの過程)、生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助)、保育教育課程論、保育内容総論、保育と発達支援、子育て支援論の全ての単位を修得すること。</p> <p>また、発達支援教育専攻については、上記の必修科目のほか、教職概論、教育原論、教育心理学の全ての単位を修得すること。</p> <p>(履修科目の登録の上限:24単位(半期))</p>												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は本字の赤字としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

<教育学部 教育学科 発達支援教育専攻>

【平成28年度】

- ・兼任教員2名が就任を辞退したが現員で対応可能なため「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」について、後任補充なし（兼21→19）
- ・教育内容の充実を図るため「総合教養Ⅲ-健康の世界-」について、オムニバスの担当者1名を追加（兼11→12）
- ・全学共通で授業を運営するため「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」について、担当教員を追加（兼3→9）
- ・教育内容の充実を図るため「情報処理学Ⅰ、Ⅱ」について、担当教員を増員しクラス数を追加（兼2→3）
- ・教職課程認定申請の審査意見に伴い「生徒・進路指導論」について担当者を変更（教授1→0、准教授1→0、兼0→1）すると共に授業の方式を単独に変更。
- ・教職課程認定審査の審査意見に伴い「教育相談の理論と方法」について、専任教員1名を追加（准教授1→2）しオムニバス方式に変更（平成29年3月AC教員審査提出予定）
- ・教職課程認定申請の審査意見に伴い「知的障害者の指導基礎論」について、担当者（准教授0→1、兼1→0）を変更（平成29年10月AC教員審査提出予定）
- ・留意事項3.に対応し「教育学入門」について、開講時期を1後から1前へ変更

【平成29年度】

- ・教学運営を円滑に行うため「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」について、専任教員の担当科目の見直しを行った。兼任教員1名が就任を辞退したが現員で対応可能なため後任補充なし（専任教員 島田恭仁（教授）平成28年11月 教員審査判定「可」。教授0→1、准教授3→2、兼19→18）
- ・教学運営を円滑に行うため「基礎ゼミナールⅢ、Ⅳ」について、専任教員の担当科目の見直しを行った（専任教員 島田恭仁（教授）平成28年11月 教員審査判定「可」。教授1→2、准教授6→5）
- ・全学共通で授業を運営するため「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」について、担当教員を追加（兼3→9）
- ・教学運営を円滑に行うため「キャリアデザイン」について、担当科目を見直しを行った。現員で対応可能なため後任補充なし（教授1→0）
- ・平成29年3月専任教員退職に伴い「幼保小連携Ⅰ（現状と課題）」について、専任教員を変更（専任教員 橋川喜美代（教授）平成29年1月 教員審査判定「可」）
- ・「教育相談の理論と方法」について、平成28年11月AC教員審査提出（専任教員 築地（吉岡）典絵（准教授）平成28年11月 教員審査判定「可」）
- ・教学運営を円滑に行うため「特別支援教育実践演習」について、専任教員を追加（専任教員 島田恭仁（教授）平成28年11月 教員審査判定「可」。教授1→2）
- ・兼任教員の就任辞退に伴い「発達障害児の指導法」について、専任教員を追加（専任教員 島田恭仁（教授）平成28年11月 教員審査判定「可」。教授0→1、兼1→0）
- ・兼任教員の就任辞退に伴い「発達障害児の指導法演習」について、専任教員を追加（専任教員 島田恭仁（教授）平成28年11月 教員審査判定「可」。教授0→1、兼1→0）
- ・教学運営を円滑に行うため「特別支援教育実習」について、専任教員を追加（専任教員 島田恭仁（教授）平成28年11月 教員審査判定「可」。教授1→2）
- ・教学運営を円滑に行うため「特別支援教育実習事前事後指導」について、専任教員を追加（専任教員 島田恭仁（教授）平成28年11月 教員審査判定「可」。教授1→2）
- ・平成29年3月専任教員退職に伴い「研究演習Ⅰ～Ⅳ」について、専任教員の変更及び教学運営を円滑に行うため専任教員の追加（専任教員 橋川喜美代（教授）平成29年1月 教員審査判定「可」、専任教員 島田恭仁（教授）平成28年11月 教員審査判定「可」。教授10→11）

【平成30年度】

- ・「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」について、全学共通で授業を運営するため担当教員を追加。（兼18→19）
- ・「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」について、全学共通で授業を運営するため、担当教員を減員。現員で対応可能なため後任補充なし（兼9→8）

【令和元年度】

- ・「英語コミュニケーションⅣ」について、教育内容の充実を図るため、担当教員を増員しクラス数を追加。（兼8→9）
- ・「特別活動の指導法」について、専任教員退職に伴い、兼任教員1名を追加。（専1→0、兼0→1）（平成31年度第1回専任教員採用等設置計画変更審査（AC教員審査）を受審中）
- ・「教育の方法と技術」について、専任教員退職に伴い、兼任教員1名を追加。（専1→0、兼0→1）（平成31年度第1回専任教員採用等設置計画変更審査（AC教員審査）を受審中）
- ・「初等教科教育法（国語）」について、専任教員退職に伴い、兼任教員1名を追加。（専1→0、兼0→1）（専任教員が決定次第AC教員審査提出予定）
- ・「初等教材研究A（国語）」について、専任教員退職に伴い、兼任教員1名を追加。（専1→0、兼0→1）（専任教員が決定次第AC教員審査提出予定）
- ・「教職実践演習（小学校）」について、専任教員退職に伴い、兼任教員1名を追加。（専1→0、兼0→1）（平成31年度第1回専任教員採用等設置計画変更審査（AC教員審査）を受審中）
- ・「研究演習Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」について、専任教員退職に伴い、担当者数変更。当面は現員で対応。（専任教員が決定次第AC教員審査提出予定）（専11→10）
- ・「児童特別支援教育論」について、教育職員免許法改正に伴い、科目を新設。（令和3年後期開講予定）
- ・「総合学習の演習」について、教育職員免許法改正に伴い、「総合的な学習の時間の指導法」に科目名称を変更。（令和4年前期開講予定）

- (注) ・ 2(1)①授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

<教育学部 教育学科>

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	187 科目		205 科目	18 科目 []	191 科目 [4]		209 科目 [4]	

<教育学部 教育学科 発達支援教育専攻>

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
18 科目	126 科目		144 科目	18 科目 []	127 科目 [1]		145 科目 [1]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

教育学科

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						【該当なし】
3						

教育学科 子ども教育専攻

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						【該当なし】
3						

教育学科 発達支援教育専攻

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						【該当なし】
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

教育学科

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						【該当なし】
3						

教育学科 子ども教育専攻

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						【該当なし】
3						

教育学科 発達支援教育専攻

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						【該当なし】
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

【該当なし】

(注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

教育学科

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{205} = \boxed{}\%$$

教育学科 子ども教育専攻

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{142} = \boxed{}\%$$

教育学科 発達支援教育専攻

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{144} = \boxed{}\%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	【共用する学校】 関西女子短期大学 (収容定員：700人/面積基準： 7,000㎡) 関西福祉科学大学高等学校 (収 容定員：1,410人/面積基準： 15,480㎡) 関西女子短期大学附属幼稚園 (収容定員：495人/面積基準： 3,160㎡) 学園総合体育館(別地) 所要時間：徒歩5分 距離：400 m ・平成28年3月校地・校舎等の 変更届出済み(28)		
	校 舎 敷 地	0㎡	44,930㎡	2,422㎡ 0㎡	47,352㎡ 44,930㎡			
	運 動 場 用 地	0㎡	5,976㎡	8,080㎡	14,056㎡			
	小 計	0㎡	50,906㎡	10,502㎡ 8,080㎡	61,408㎡ 58,986㎡			
	そ の 他	2,160㎡	33,961㎡	0㎡ 2,422㎡	36,121㎡ 38,543㎡			
	合 計	2,160㎡	84,867㎡	10,502㎡	97,529㎡			
(2) 校 舎	専 用	27,636㎡ 27,570㎡	5,643㎡	8,067㎡	41,346㎡ 41,280㎡	【共用する学校】 関西女子短期大学 ・平成30年3月校地・校舎等の変更 届出済み(30) ・平成28年3月校地・校舎等の変更 届出済み(28)		
	(26,990㎡) (27,252㎡)	(5,643㎡)	(8,713㎡) (8,385㎡)	(41,346㎡) (41,280㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	34室 32室 33室	24室 30室	53室 46室 41室 39室	3室 2人 3人 4人 (補助職員 7人)	大学全体 ・講義室・実験実習室：講義室を 実験実習室、実験実習室を講義室 に改修。実験棟を改修。短期大学 使用教室を大学実験実習室に改修 (29) (30) (元) ・補助職員：令和元年5月1日の雇 用実績に基づき変更(元) ・補助職員：平成30年5月1日の雇 用実績に基づき変更(30) ・補助職員：平成28年5月1日の雇 用実績に基づき変更(28)		
	演 習 室							
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		講師は2名で1室		
	教育学部 教育学科			21 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	学部関連図書・学術雑誌等は短大 図書館を含む。 大学・短大全体の共用分(左記の 教育学部関連図書を含む) 図書 約130,000冊 約128,000冊 約122,700冊 約129,000冊 〔約6,300冊〕 〔約7,000冊〕 〔約9,500冊〕 視聴覚資料 約4,300点 約5,400点 約5,800点 学術雑誌 約1,200種 ・利用実績のない古い視聴覚資料 (VHS)を廃棄する一方、必要な図 書等は拡充又は計画通り購入して おり、修学に支障は生じない (29) (30) (元) ・既蔵図書との重複を分を除 き、再選定したことによる(28)
	教育学部 教育学科	24,066 [1,036] 23,610 [1,032] 23,397 [1,061] 23,182 [1,218] 22,406 [1,220] (23,986 [1,036]) (23,430 [1,032]) (23,097 [1,031]) (22,732 [1,168]) (21,956 [1,170])	62 [6]	0 [0]	957 1,180 1,169 1,139 (940) (945) (1,162) (1,145) (1,099)	4,475 4,465 4,066 4,121 (4,475) (4,465) (4,066) (4,121)	42 41 (42) (41)	
	計	24,066 [1,036] 23,610 [1,032] 23,397 [1,061] 23,182 [1,218] 22,406 [1,220] (23,986 [1,036]) (23,430 [1,032]) (23,097 [1,031]) (22,732 [1,168]) (21,956 [1,170])	(62 [6])	(0 [0])	(940) (945) (1,162) (1,145) (1,099)	(4,475) (4,465) (4,066) (4,121)	(42) (41)	
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体(関西女子短期大学での 共用分を含む) <短大> 面積：442㎡ 閲覧座席数：80席 収容可能冊数：53,000冊 ・修学に支障のない範囲で、第2書 庫を実習室に転用したことによる (29)	
	1,173㎡ 1,246㎡		305席		102,000冊 111,000冊			

(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					大学全体 (関西女子短期大学での共用分含む)	
	7,053㎡		テニスコート3面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	・共同研究費等は大学全体 ・図書購入費：教育内容をより充実させるため、費用を重点配分したことにより増加(29) ・図書購入費：洋雑誌の価格が見積金額よりも安価であったため(28) ・設備購入費：開設前年度繰越分に加え、教育内容をより充実させるため、設備の一部見直しを行ったことによる(29) ・設備購入費：'グレート'等の見直しのため翌年に繰越したが、総額に変更はない。なお、開設初年度の学部運営に支障は生じない(28) ・共同研究費等：共同研究費等の予算の一部を教育改革推進に使用することにしたことによる減額(30)
		教員1人当り研究費等	500千円	500千円	図書購入費	6,232千円 6,280千円	2,591千円 1,555千円	830千円	
	共同研究費等	9,500千円 8,000千円	6,500千円 8,000千円	設備購入費	53,719千円 58,322千円	22,890千円 16,405千円 11,802千円	0千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,300千円	1,100千円	1,100千円	1,100千円	— 千円	— 千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金 等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称		関西福祉科学大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
社会福祉学部										
社会福祉学科	4	140	3年次20	600	学士(社会福祉学)	1.08	—	平成9年度	大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号	平成28年度入学定員△40、3年次編入△20
臨床心理学科	4	—	3年次20	—	学士(臨床心理学)	—	—	平成15年度	同上	平成28年度より学生募集停止(3年次編入学定員は平成30年4月学生募集停止)
心理科学部										
心理科学科	4	110	3年次10	460	学士(心理科学)	0.90	—	平成28年度	同上	
健康福祉学部										
健康科学科	4	80	3年次10	340	学士(健康科学)	1.00	—	平成15年度	同上	
福祉栄養学科	4	80	3年次5	330	学士(福祉栄養学)	0.92	—	平成15年度	同上	
保健医療学部										
リハビリテーション学科		170		680		1.01	—			
理学療法学専攻	4	80	—	320	学士(理学療法学)	1.00	—	平成23年度	同上	
作業療法学専攻	4	50	—	200	学士(作業療法学)	1.09	—	平成23年度	同上	平成28年度入学定員+10
言語聴覚学専攻	4	40	—	160	学士(言語聴覚学)	0.93	—	平成27年度	同上	
教育学部										
教育学科	4	100		400		0.78	—			
子ども教育専攻	4	50	—	200	学士(教育学)	0.55	—	平成28年度	同上	
発達支援教育専攻	4	50	—	200	学士(教育学)	1.02	—	平成28年度	同上	
大学全体	—	680	20	2810	—	0.96	—	—	—	
大学の名称		関西福祉科学大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率		開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
社会福祉学研究科										
臨床福祉学専攻(博士前期課程)	2	20	—	40	修士(臨床福祉学)	0.17		平成13年度	大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号	
臨床福祉学専攻(博士後期課程)	3	3	—	9	博士(臨床福祉学)	0.33		平成15年度	同上	
心理臨床学専攻(修士課程)	2	10	—	20	修士(心理臨床学)	0.65		平成15年度	同上	
大学院全体	—	33	—	69	—	0.33	—	—	—	

大学の名称		関西女子短期大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率		開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
保育学科	2	120	—	240	短期大学士(保育学)	0.75		昭和40年度	大阪府柏原市旭ヶ丘3丁目11番1号	平成28年度入学定員+20
養護保健学科	2	40	—	80	短期大学士(保健学)	1.03		昭和42年度	同上	
歯科衛生学科	3	100	—	300	短期大学士(歯科衛生学)	1.13		平成17年度	同上	
医療秘書学科	2	40	—	80	短期大学士(保健学)	0.67		平成23年度	同上	平成28年度入学定員△20
短期大学全体	—	300	—	700	—	0.90	—	—	—	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<教育学部 教育学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成28年度】			【平成29年度】			【平成30年度】			【令和元年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)年 月 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)年 月 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)年 月 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)年 月 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)年 月 <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
専	教授(学部長兼 学科長)	林 龍平 (62) <平成28年4月> 博士(心理学) 教師のキャリア発達※ 生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助) 課題実践研究 学習・発達論 教育心理学 学習心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授(学部長兼 学科長)	林 龍平 (62) <平成28年4月> 博士(心理学) 教師のキャリア発達※ 生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助) 課題実践研究 学習・発達論 教育心理学 学習心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授(学部長兼 学科長)	林 龍平 (63) <平成28年4月> 博士(心理学) 教師のキャリア発達※ 生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助) 課題実践研究 学習・発達論 教育心理学 学習心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授(学部長兼 学科長)	林 龍平 (64) <平成28年4月> 博士(心理学) 教師のキャリア発達※ 生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助) 課題実践研究 学習・発達論 教育心理学 学習心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授(学部長兼 学科長)	林 龍平 (65) <平成28年4月> 博士(心理学) 教師のキャリア発達※ 生涯発達心理学Ⅱ(支援・援助) 課題実践研究 学習・発達論 教育心理学 学習心理学 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
専	教授	大脳 康弘 (65) <平成29年4月> 教育学修士 教師のキャリア発達※ 教育制度論 学校経営論 教育行政学 保護者との協働体制づくりの実践※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	大脳 康弘 (64) <平成29年4月> 教育学修士 教師のキャリア発達※ 教育制度論 学校経営論 教育行政学 保護者との協働体制づくりの実践※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	大脳 康弘 (65) <平成29年4月> 教育学修士 教師のキャリア発達※ 教育制度論 学校経営論 教育行政学 保護者との協働体制づくりの実践※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	大脳 康弘 (66) <平成29年4月> 教育学修士 教師のキャリア発達※ 教育制度論 学校経営論 教育行政学 保護者との協働体制づくりの実践※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	大脳 康弘 (67) <平成29年4月> 教育学修士 教師のキャリア発達※ 教育制度論 学校経営論 教育行政学 保護者との協働体制づくりの実践※ 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
専	教授	野田 文子 (62) <平成29年4月> 教育学修士 教師のキャリア発達※ 子どもの食と栄養 消費者教育学 授業づくりの内容と方法※ 教職基礎演習Ⅱ(教科)※ 家庭(小) 初等教科教育法(家庭) 教育実習事前事後指導(小学校) 教職実践演習(小学校) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	野田 文子 (62) <平成29年4月> 教育学修士 教師のキャリア発達※ 子どもの食と栄養 消費者教育学 授業づくりの内容と方法※ 教職基礎演習Ⅱ(教科)※ 家庭(小) 初等教科教育法(家庭) 教育実習事前事後指導(小学校) 教職実践演習(小学校) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	野田 文子 (63) <平成29年4月> 教育学修士 教師のキャリア発達※ 子どもの食と栄養 消費者教育学 授業づくりの内容と方法※ 教職基礎演習Ⅱ(教科)※ 家庭(小) 初等教科教育法(家庭) 教育実習事前事後指導(小学校) 教職実践演習(小学校) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	野田 文子 (64) <平成29年4月> 教育学修士 教師のキャリア発達※ 子どもの食と栄養 消費者教育学 授業づくりの内容と方法※ 教職基礎演習Ⅱ(教科)※ 家庭(小) 初等教科教育法(家庭) 教育実習事前事後指導(小学校) 教職実践演習(小学校) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	野田 文子 (65) <平成29年4月> 教育学修士 教師のキャリア発達※ 子どもの食と栄養 消費者教育学 授業づくりの内容と方法※ 教職基礎演習Ⅱ(教科)※ 家庭(小) 初等教科教育法(家庭) 教育実習事前事後指導(小学校) 教職実践演習(小学校) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
専	教授	馬野 範雄 (62) <平成29年4月> 教育学修士 教師のキャリア発達※ 幼保小連携Ⅰ(現状と課題)※ 総合学習の演習 授業づくりの内容と方法※ 生活(小) 初等教科教育法(生活) 教育実習(小学校) 教育実習事前事後指導(小学校) 教職実践演習(小学校) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	馬野 範雄 (61) <平成29年4月> 教育学修士 教師のキャリア発達※ 幼保小連携Ⅰ(現状と課題)※ 総合学習の演習 授業づくりの内容と方法※ 生活(小) 初等教科教育法(生活) 教育実習(小学校) 教育実習事前事後指導(小学校) 教職実践演習(小学校) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	馬野 範雄 (62) <平成29年4月> 教育学修士 教師のキャリア発達※ 幼保小連携Ⅰ(現状と課題)※ 総合学習の演習 授業づくりの内容と方法※ 生活(小) 初等教科教育法(生活) 教育実習(小学校) 教育実習事前事後指導(小学校) 教職実践演習(小学校) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	馬野 範雄 (63) <平成29年4月> 教育学修士 教師のキャリア発達※ 幼保小連携Ⅰ(現状と課題)※ 総合学習の演習 授業づくりの内容と方法※ 生活(小) 初等教科教育法(生活) 教育実習(小学校) 教育実習事前事後指導(小学校) 教職実践演習(小学校) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	馬野 範雄 (64) <令和4年4月> 教育学修士 教師のキャリア発達※ 幼保小連携Ⅰ(現状と課題)※ 総合学習の演習の指導法 授業づくりの内容と方法※ 生活(小) 初等教科教育法(生活) 教育実習(小学校) 教育実習事前事後指導(小学校) 教職実践演習(小学校) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	岡本 雅子 (55) <平成28年4月> 修士(教育学)	幼児小連携I(現状と課題)※ 保育原理 保育教育課程論 保育内容総論 保育指導の実際※ 教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 保育教職実践演習(幼稚園) 研究演習I 研究演習II 研究演習III 研究演習IV
専	教授	小西 正雄 (65) <平成28年4月> 教育学修士	授業づくりの内容と方法※ 社会(小) 初等教科教育法(社会) 初等教材研究B(社会) 異文化理解と教育 研究演習I 研究演習II 研究演習III 研究演習IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	岡本 雅子 (55) <平成28年4月> 修士(教育学)	幼児小連携I(現状と課題)※ 保育原理 保育内容総論 保育指導の実際※ 教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 保育教職実践演習(幼稚園) 研究演習I 研究演習II 研究演習III 研究演習IV
兼任	講師	西本 望 (57) <平成28年10月> 農学士 文学修士 博士(教育学)	保育教育課程論 保育教育課程論
専	教授	小西 正雄 (65) <平成28年4月> 教育学修士	授業づくりの内容と方法※ 社会(小) 初等教科教育法(社会) 初等教材研究B(社会) 異文化理解と教育 研究演習I 研究演習II 研究演習III 研究演習IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	西本 望 (58) <平成28年10月> 農学士 文学修士 博士(教育学)	保育教育課程論 保育教育課程論
専	教授	橋川 喜美代 (66) <平成29年4月> 文学博士	幼児小連携I(現状と課題)※ 保育原理 保育内容総論 保育指導の実際※ 教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 保育教職実践演習(幼稚園) 研究演習I 研究演習II 研究演習III 研究演習IV
専	教授	小西 正雄 (66) <平成28年4月> 教育学修士	授業づくりの内容と方法※ 社会(小) 初等教科教育法(社会) 初等教材研究B(社会) 異文化理解と教育 研究演習I 研究演習II 研究演習III 研究演習IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	追 共 (43) <平成30年10月> 教育学修士	保育教育課程論 保育教育課程論
専	教授	橋川 喜美代 (66) <平成29年4月> 文学博士	幼児小連携I(現状と課題)※ 保育原理 保育内容総論 保育指導の実際※ 教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 保育教職実践演習(幼稚園) 研究演習I 研究演習II 研究演習III 研究演習IV
専	教授	小西 正雄 (67) <平成28年4月> 教育学修士	授業づくりの内容と方法※ 社会(小) 初等教科教育法(社会) 初等教材研究B(社会) 異文化理解と教育 研究演習I 研究演習II 研究演習III 研究演習IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	教授	橋川 喜美代 (67) <平成31年4月> 文学博士	保育教育課程論 保育教育課程論
専	教授	橋川 喜美代 (67) <平成31年4月> 文学博士	幼児小連携I(現状と課題)※ 保育原理 保育内容総論 保育指導の実際※ 教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 保育教職実践演習(幼稚園) 研究演習I 研究演習II 研究演習III 研究演習IV 保育教育課程論
専	教授	小西 正雄 (68) <平成28年4月> 教育学修士	授業づくりの内容と方法※ 社会(小) 初等教科教育法(社会) 初等教材研究B(社会) 異文化理解と教育 研究演習I 研究演習II 研究演習III 研究演習IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専任	教授	島田 恭仁 (60) <平成28年4月> 博士(教育学)	特別支援教育の基礎
専任	教授	島田 恭仁 (61) <平成29年4月> 博士(教育学)	特別支援教育の基礎 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 特別支援教育実践演習※ 発達障害児の指導法※ 発達障害児の指導法演習※ 特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
専任	教授	島田 恭仁 (62) <平成29年4月> 博士(教育学)	特別支援教育の基礎 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 特別支援教育実践演習※ 発達障害児の指導法※ 発達障害児の指導法演習※ 特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
専任	教授	島田 恭仁 (63) <平成29年4月> 博士(教育学)	特別支援教育の基礎 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 特別支援教育実践演習※ 発達障害児の指導法※ 発達障害児の指導法演習※ 特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
専任	教授	生野 金三 (72) <平成28年4月> 教育学修士	特別活動の指導法 教育の方法と技術 生徒・進路指導論※ 初等教科教育法(国語) 初等教材研究A(国語) 教職実践演習(小学校) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
専任	教授	生野 金三 (73) <平成28年4月> 教育学修士	特別活動の指導法 教育の方法と技術 初等教科教育法(国語) 初等教材研究A(国語) 教職実践演習(小学校) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
専任	教授	生野 金三 (74) <平成28年4月> 教育学修士	特別活動の指導法 教育の方法と技術 初等教科教育法(国語) 初等教材研究A(国語) 教職実践演習(小学校) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
兼任	講師	藤原 靖浩 (33) <平成31年4月> 修士(教育学)	特別活動の指導法 教育の方法と技術 教職実践演習(小学校)
兼任	講師	田中 俊弥 (59) <平成31年4月> 教育学修士	初等教科教育法(国語) 初等教材研究A(国語)
兼任	講師	瀧野 揚三 (55) <平成30年4月> 教育学修士	生徒・進路指導論
兼任	講師	瀧野 揚三 (56) <平成30年4月> 教育学修士	生徒・進路指導論
兼任	講師	瀧野 揚三 (57) <平成30年4月> 教育学修士	生徒・進路指導論
専任	教授	高木 史人 (58) <平成28年4月> 文学修士	幼児国語 児童文学 児童文化 国語表現法 教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 国語(小) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
専任	教授	高木 史人 (59) <平成28年4月> 文学修士	幼児国語 児童文学 児童文化 国語表現法 教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 国語(小) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
専任	教授	高木 史人 (60) <平成28年4月> 文学修士	幼児国語 児童文学 児童文化 国語表現法 教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 国語(小) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
専任	教授	高木 史人 (61) <平成28年4月> 文学修士	幼児国語 児童文学 児童文化 国語表現法 教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 国語(小) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名						
専	教授	高塚 桂子 (58) <平成28年4月> 修士(芸術学)	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 保育内容演習(表現Ⅱ) 幼児音楽 ソルフェージュ ピアノⅠ(基礎) ピアノⅡ(発展) 音楽(小)	専	教授	高塚 桂子 (58) <平成28年4月> 修士(芸術学)	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 幼児音楽 ソルフェージュ ピアノⅠ(基礎) ピアノⅡ(発展) 音楽(小)	専	教授	高塚 桂子 (59) <平成28年4月> 修士(芸術学)	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 幼児音楽 ソルフェージュ ピアノⅠ(基礎) ピアノⅡ(発展) 音楽(小)	専	教授	高塚 桂子 (60) <平成28年4月> 修士(芸術学)	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 幼児音楽 ソルフェージュ ピアノⅠ(基礎) ピアノⅡ(発展) 音楽(小)	専	教授	高塚 桂子 (61) <平成28年4月> 修士(芸術学)	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 幼児音楽 ソルフェージュ ピアノⅠ(基礎) ピアノⅡ(発展) 音楽(小)		
				兼任	講師	廣津 友香 (45) <平成30年4月> 修士(教育学)	保育内容演習(表現Ⅱ)	兼任	講師	廣津 友香 (46) <平成30年4月> 修士(教育学)	保育内容演習(表現Ⅱ)	兼任	講師	廣津 友香 (47) <平成30年4月> 修士(教育学)	保育内容演習(表現Ⅱ)	兼任	講師	廣津 友香 (48) <平成30年4月> 修士(教育学)	保育内容演習(表現Ⅱ)		
専	教授	田巻 義孝 (72) <平成28年4月> 文学博士 医学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 肢体不自由者の心理・生理・病理 病弱者の心理・生理・病理 特別支援教育実践演習※ 特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導 知的障害者の生理・病理 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	田巻 義孝 (72) <平成28年4月> 文学博士 医学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 肢体不自由者の心理・生理・病理 病弱者の心理・生理・病理 特別支援教育実践演習※ 特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導 知的障害者の生理・病理 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	田巻 義孝 (73) <平成28年4月> 文学博士 医学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 肢体不自由者の心理・生理・病理 病弱者の心理・生理・病理 特別支援教育実践演習※ 特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導 知的障害者の生理・病理 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	田巻 義孝 (74) <平成28年4月> 文学博士 医学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 肢体不自由者の心理・生理・病理 病弱者の心理・生理・病理 特別支援教育実践演習※ 特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導 知的障害者の生理・病理 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ	専	教授	田巻 義孝 (75) <平成28年4月> 文学博士 医学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 肢体不自由者の心理・生理・病理 病弱者の心理・生理・病理 特別支援教育実践演習※ 特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導 知的障害者の生理・病理 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ		
								専	教授	橋川 喜美代 (65) <平成29年4月> 文学博士	保育者論 幼児小連携Ⅰ(現状と課題)※ 保育原理 保育内容総論 保育指導の実践※ 教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 保育教職実践演習(幼稚園) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ		専	教授	橋川 喜美代 (66) <平成29年4月> 文学博士	保育者論 幼児小連携Ⅰ(現状と課題)※ 保育原理 保育内容総論 保育指導の実践※ 教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 保育教職実践演習(幼稚園) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ		専	教授	橋川 喜美代 (67) <平成31年4月> 文学博士	保育者論 幼児小連携Ⅰ(現状と課題)※ 保育原理 保育内容総論 保育指導の実践※ 教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 保育教職実践演習(幼稚園) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ 保育教育原簿論
専	教授	宮野 安治 (69) <平成28年4月> 博士(教育学)	キャリアデザイン※ 教師のキャリア発達※ 教育原理 教職概論 教育原論 教育学入門	専	教授	宮野 安治 (69) <平成28年4月> 博士(教育学)	キャリアデザイン※ 教師のキャリア発達※ 教育原理 教職概論 教育原論 教育学入門	専	教授	宮野 安治 (70) <平成29年4月> 博士(教育学)	教師のキャリア発達※ 教育原理 教職概論 教育原論 教育学入門	専	教授	宮野 安治 (71) <平成29年4月> 博士(教育学)	教師のキャリア発達※ 教育原理 教職概論 教育原論 教育学入門	専	教授	宮野 安治 (72) <平成29年4月> 博士(教育学)	教師のキャリア発達※ 教育原理 教職概論 教育原論 教育学入門		
								兼任	准教授	節不 真 (44) <平成29年4月> Ph.D in Philosophy (アメリカ) キャリアデザイン※											
												兼任	教授	山口 美和 (53) <平成30年4月> 博士(言語文化学)	キャリアデザイン※		兼任	教授	山口 美和 (54) <平成30年4月> 博士(言語文化学)	キャリアデザイン※	

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 真紀 (51) <平成28年4月> 博士(農学)
		総合教養Ⅰ-河内学-※ 生物学入門 生命科学概論※ 子どもと自然 理科(小) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
		加藤 美朗 (55) <平成28年4月> 修士(学校教育学)
		基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 特別支援教育実践演習※ 知的・発達障害者の継続教育論 発達障害児の指導法※ 発達障害児の指導法演習※ 特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導 知的障害者の心理 障害のアセスメント 学習障害・注意欠陥多動性障害概論
専	准教授	築地(吉岡)典絵 (47) <平成28年4月> 博士(教育学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 家族関係論 課題実践研究 生徒・進路指導論※
		兼任 講師
		新川 泰弘 (45) <平成28年4月> 修士(教育学)
専	准教授	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 相談援助 家庭支援論 教育相談の基礎 保育相談支援 課題実践研究 子育て支援論※ 保育教職実践演習(幼稚園)
		保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習指導Ⅰ(施設) 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 教育相談の理論と方法
		兼任 講師
		新川 泰弘 (45) <平成28年4月> 修士(教育学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 真紀 (51) <平成28年4月> 博士(農学)
		総合教養Ⅰ-河内学-※ 生物学入門 生命科学概論※ 子どもと自然 理科(小) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
		加藤 美朗 (55) <平成28年4月> 修士(学校教育学)
		基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 特別支援教育実践演習※ 知的・発達障害者の継続教育論 発達障害児の指導法※ 発達障害児の指導法演習※ 特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導 知的障害者の心理 障害のアセスメント 学習障害・注意欠陥多動性障害概論
専	准教授	築地(吉岡)典絵 (47) <平成30年4月> 博士(教育学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 家族関係論 課題実践研究 教育相談の基礎※ 教育相談の理論と方法※
		兼任 講師
		瀧野 播三 (55) <平成30年4月> 教育学修士
専	准教授	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 相談援助 家庭支援論 教育相談の基礎※ 保育相談支援 課題実践研究 子育て支援論※ 保育教職実践演習(幼稚園)
		保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習指導Ⅰ(施設) 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 教育相談の理論と方法※
		兼任 講師
		新川 泰弘 (45) <平成30年4月> 教育学修士

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 真紀 (52) <平成28年4月> 博士(農学)
		総合教養Ⅰ-河内学-※ 生物学入門 生命科学概論※ 子どもと自然 理科(小) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
		加藤 美朗 (56) <平成28年4月> 修士(学校教育学)
		基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 特別支援教育実践演習※ 知的・発達障害者の継続教育論 発達障害児の指導法※ 発達障害児の指導法演習※ 特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導 知的障害者の心理 障害のアセスメント 学習障害・注意欠陥多動性障害概論
専	准教授	築地(吉岡)典絵 (48) <平成30年4月> 博士(教育学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 家族関係論 課題実践研究 教育相談の基礎※ 教育相談の理論と方法※
		兼任 講師
		瀧野 播三 (56) <平成30年4月> 教育学修士
専	准教授	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 相談援助 家庭支援論 教育相談の基礎※ 保育相談支援 課題実践研究 子育て支援論※ 保育教職実践演習(幼稚園)
		保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習指導Ⅰ(施設) 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 教育相談の理論と方法※
		兼任 講師
		新川 泰弘 (46) <平成29年4月> 修士(教育学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 真紀 (53) <平成28年4月> 博士(農学)
		総合教養Ⅰ-河内学-※ 生物学入門 生命科学概論※ 子どもと自然 理科(小) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
		加藤 美朗 (57) <平成28年4月> 修士(学校教育学)
		基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 特別支援教育実践演習※ 知的・発達障害者の継続教育論 発達障害児の指導法※ 発達障害児の指導法演習※ 特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導 知的障害者の心理 障害のアセスメント 学習障害・注意欠陥多動性障害概論
専	准教授	築地(吉岡)典絵 (49) <平成30年4月> 博士(教育学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 家族関係論 課題実践研究 教育相談の基礎※ 教育相談の理論と方法※
		兼任 講師
		瀧野 播三 (57) <平成30年4月> 教育学修士
専	准教授	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 相談援助 家庭支援論 教育相談の基礎※ 保育相談支援 課題実践研究 子育て支援論※ 保育教職実践演習(幼稚園)
		保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習指導Ⅰ(施設) 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 教育相談の理論と方法※
		兼任 講師
		新川 泰弘 (47) <平成29年4月> 修士(教育学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	山本 真紀 (54) <平成28年4月> 博士(農学)
		総合教養Ⅰ-河内学-※ 生物学入門 生命科学概論※ 子どもと自然 理科(小) 研究演習Ⅰ 研究演習Ⅱ 研究演習Ⅲ 研究演習Ⅳ
		加藤 美朗 (58) <平成28年4月> 修士(学校教育学)
		基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 特別支援教育実践演習※ 知的・発達障害者の継続教育論 発達障害児の指導法※ 発達障害児の指導法演習※ 特別支援教育実習 特別支援教育実習事前事後指導 知的障害者の心理 障害のアセスメント 学習障害・注意欠陥多動性障害概論
専	准教授	築地(吉岡)典絵 (50) <平成30年4月> 博士(教育学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 家族関係論 課題実践研究 教育相談の基礎※ 教育相談の理論と方法※
		兼任 講師
		瀧野 播三 (58) <平成30年4月> 教育学修士
専	准教授	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 相談援助 家庭支援論 教育相談の基礎※ 保育相談支援 課題実践研究 子育て支援論※ 保育教職実践演習(幼稚園)
		保育実習Ⅰ(保育所) 保育実習Ⅰ(施設) 保育実習Ⅱ 保育実習Ⅲ 保育実習指導Ⅰ(保育所) 保育実習指導Ⅰ(施設) 保育実習指導Ⅱ 保育実習指導Ⅲ 教育相談の理論と方法※
		兼任 講師
		新川 泰弘 (48) <平成29年4月> 修士(教育学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
専	講師	香田 健治 (50) <平成28年4月> 修士(学校教育学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 幼保小連携Ⅱ(実践)※ 保育の環境教育 保育内容演習(環境) 幼児生活 課題実践研究 学級づくりの理論と実際※ 教職基礎演習Ⅰ(場面指導・教科)※	専	講師	香田 健治 (50) <平成28年4月> 修士(学校教育学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 幼保小連携Ⅱ(実践)※ 保育の環境教育 保育内容演習(環境) 幼児生活 課題実践研究 学級づくりの理論と実際※ 教職基礎演習Ⅰ(場面指導・教科)※	専	講師	香田 健治 (51) <平成28年4月> 修士(学校教育学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 幼保小連携Ⅱ(実践)※ 保育の環境教育 保育内容演習(環境) 幼児生活 課題実践研究 学級づくりの理論と実際※ 教職基礎演習Ⅰ(場面指導・教科)※
専	講師	西川 潔 (58) <平成28年4月> 修士(教育学)	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 教師のキャリア発達※ 幼保小連携Ⅰ(現状と課題)※ 保護者との協同体制づくりの実践※ 教職基礎演習Ⅰ(場面指導・教科)※ 体育(小) 初等教科教育法(体育) 教育実習(小学校)	専	講師	西川 潔 (58) <平成28年4月> 修士(教育学)	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 教師のキャリア発達※ 幼保小連携Ⅰ(現状と課題)※ 保護者との協同体制づくりの実践※ 教職基礎演習Ⅰ(場面指導・教科)※ 体育(小) 初等教科教育法(体育) 教育実習(小学校)	専	講師	西川 潔 (59) <平成28年4月> 修士(教育学)	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 教師のキャリア発達※ 幼保小連携Ⅰ(現状と課題)※ 保護者との協同体制づくりの実践※ 教職基礎演習Ⅰ(場面指導・教科)※ 体育(小) 初等教科教育法(体育) 教育実習(小学校)
専	講師	東尾 兎世 (49) <平成29年4月> 修士(教育学)	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 教師のキャリア発達※ 幼保小連携Ⅱ(実践)※ 幼児算数 学級づくりの理論と実際※ 教職基礎演習Ⅱ(教科)※ 算数(小) 初等教科教育法(算数) 初等教材研究C(算数) 教育実習(小学校)	専	講師	東尾 兎世 (48) <平成29年4月> 修士(教育学)	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 教師のキャリア発達※ 幼保小連携Ⅱ(実践)※ 幼児算数 学級づくりの理論と実際※ 教職基礎演習Ⅱ(教科)※ 算数(小) 初等教科教育法(算数) 初等教材研究C(算数) 教育実習(小学校)	専	講師	東尾 兎世 (49) <平成29年4月> 修士(教育学)	基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 教師のキャリア発達※ 幼保小連携Ⅱ(実践)※ 幼児算数 学級づくりの理論と実際※ 教職基礎演習Ⅱ(教科)※ 算数(小) 初等教科教育法(算数) 初等教材研究C(算数) 教育実習(小学校)
兼任	教授	相谷 登 (56) <平成28年4月> 教育学修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅰ-河内学-※ 人格心理学	兼任	教授	相谷 登 (56) <平成28年4月> 教育学修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅰ-河内学-※ 人格心理学	兼任	教授	相谷 登 (57) <平成29年4月> 教育学修士	総合教養Ⅰ-河内学-※ 人格心理学
兼任	教授	綾木 仁 (59) <平成28年10月> 医学博士	総合教養Ⅳ-栄養-※	兼任	教授	綾木 仁 (59) <平成28年10月> 医学博士	総合教養Ⅳ-栄養-※	兼任	教授	綾木 仁 (60) <平成28年10月> 医学博士	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	伊倉 宏司 (68) <平成28年10月> 農学博士	総合教養Ⅳ-栄養-※	兼任	教授	伊倉 宏司 (68) <平成28年10月> 農学博士	総合教養Ⅳ-栄養-※	兼任	教授	伊倉 宏司 (69) <平成28年10月> 農学博士	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	遠藤 洋二 (60) <平成30年10月> 修士(臨床教育学)	公的扶助論	兼任	教授	遠藤 洋二 (59) <平成30年10月> 修士(臨床教育学)	公的扶助論	兼任	教授	遠藤 洋二 (60) <平成30年10月> 修士(臨床教育学)	公的扶助論
専	講師	香田 健治 (53) <平成28年4月> 修士(学校教育学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 幼保小連携Ⅱ(実践)※ 保育の環境教育 保育内容演習(環境) 幼児生活 課題実践研究 学級づくりの理論と実際※ 教職基礎演習Ⅰ(場面指導・教科)※	専	講師	香田 健治 (53) <平成28年4月> 修士(学校教育学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 基礎ゼミナールⅢ 基礎ゼミナールⅣ 幼保小連携Ⅱ(実践)※ 保育の環境教育 保育内容演習(環境) 幼児生活 課題実践研究 学級づくりの理論と実際※ 教職基礎演習Ⅰ(場面指導・教科)※	兼任	講師	大迫 雅人 (34) <平成31年4月> 食物栄養学修士	総合教養Ⅳ-栄養-※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	遠藤 和佳子 (48) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	児童家庭福祉 子育て支援論※ 教育福祉論
兼任	教授	大川 尚子 (54) <平成28年4月> 博士(学校教育学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	柏木 雄次郎 (62) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※
兼任	教授	亀島(最上)信也 (61) <平成28年10月> Ph.D(アメリカ)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 保育内容演習(人間関係)※
兼任	教授	倉恒 弘彦 (61) <平成28年4月> 医学博士	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 疲労とストレスの科学
兼任	教授	斉藤 千鶴 (63) <平成28年4月> 社会学修士	社会福祉概論
兼任	教授	相良 多喜子 (68) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	櫻井 秀雄 (54) <平成28年10月> 文学修士	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※
兼任	教授	島井 哲志 (67) <平成30年4月> 博士(医学)	コミュニティ心理学 ポジティブ心理学
兼任	教授	志水 秀郎 (57) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	谷向 みつえ (51) <平成28年4月> 文学修士	総合教養Ⅰ-河内学-※ 子育て支援論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	遠藤 和佳子 (48) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	児童家庭福祉 子育て支援論※ 教育福祉論
兼任	教授	大川 尚子 (54) <平成28年4月> 博士(学校教育学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	柏木 雄次郎 (62) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※
兼任	教授	亀島(最上)信也 (61) <平成28年10月> Ph.D(アメリカ)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 保育内容演習(人間関係)※
兼任	教授	倉恒 弘彦 (61) <平成28年4月> 医学博士	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 疲労とストレスの科学
兼任	講師	浦上 圭太 (42) <平成28年4月> 社会学修士	社会福祉概論
兼任	教授	相良 多喜子 (68) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	櫻井 秀雄 (54) <平成28年10月> 文学修士	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※
兼任	教授	島井 哲志 (67) <平成30年4月> 博士(医学)	コミュニティ心理学 ポジティブ心理学
兼任	教授	志水 秀郎 (57) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	谷向 みつえ (51) <平成28年4月> 文学修士	総合教養Ⅰ-河内学-※ 子育て支援論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	遠藤 和佳子 (49) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	児童家庭福祉 子育て支援論※ 教育福祉論
兼任	教授	大川 尚子 (55) <平成28年4月> 博士(学校教育学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	柏木 雄次郎 (63) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※
兼任	教授	亀島(最上)信也 (62) <平成28年10月> Ph.D(アメリカ)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 保育内容演習(人間関係)※
兼任	教授	倉恒 弘彦 (62) <平成28年4月> 医学博士	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 疲労とストレスの科学
兼任	講師	浦上 圭太 (43) <平成28年4月> 社会学修士	社会福祉概論
兼任	教授	相良 多喜子 (69) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	櫻井 秀雄 (55) <平成28年10月> 文学修士	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※
兼任	教授	島井 哲志 (66) <平成30年4月> 博士(医学)	コミュニティ心理学 ポジティブ心理学
兼任	教授	中村 敏子 (60) <平成29年10月> 医学博士	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	谷向 みつえ (52) <平成28年4月> 文学修士	総合教養Ⅰ-河内学-※ 子育て支援論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	遠藤 和佳子 (50) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	児童家庭福祉 子育て支援論※ 教育福祉論
兼任	教授	大川 尚子 (56) <平成28年4月> 博士(学校教育学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	柏木 雄次郎 (64) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※
兼任	教授	亀島(最上)信也 (63) <平成28年10月> Ph.D(アメリカ)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 保育内容演習(人間関係)※
兼任	教授	倉恒 弘彦 (63) <平成28年4月> 医学博士	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 疲労とストレスの科学
兼任	講師	浦上 圭太 (44) <平成28年4月> 社会学修士	社会福祉概論
兼任	教授	相良 多喜子 (70) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	櫻井 秀雄 (56) <平成28年10月> 文学修士	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※
兼任	教授	島井 哲志 (67) <平成30年4月> 博士(医学)	コミュニティ心理学 ポジティブ心理学
兼任	教授	中村 敏子 (61) <平成29年10月> 医学博士	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	谷向 みつえ (53) <平成28年4月> 文学修士	総合教養Ⅰ-河内学-※ 子育て支援論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	遠藤 和佳子 (51) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	児童家庭福祉 子育て支援論※ 教育福祉論
兼任	教授	斉藤 千鶴 (60) <平成31年4月> 博士(保健学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	柏木 雄次郎 (65) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※
兼任	教授	亀島(最上)信也 (64) <平成31年4月> Ph.D(アメリカ)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 保育内容演習(人間関係)※ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	教授	倉恒 弘彦 (64) <平成28年4月> 医学博士	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ 疲労とストレスの科学
兼任	講師	浦上 圭太 (45) <平成28年4月> 社会学修士	社会福祉概論
兼任	教授	相良 多喜子 (71) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	櫻井 秀雄 (57) <平成28年10月> 文学修士	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ-※
兼任	教授	島井 哲志 (68) <平成30年4月> 博士(医学)	コミュニティ心理学 ポジティブ心理学
兼任	教授	中村 敏子 (62) <平成29年10月> 医学博士	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	谷向 みつえ (54) <平成28年4月> 文学修士	総合教養Ⅰ-河内学-※ 子育て支援論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	津田 耕一 (55) <平成28年10月> 博士(臨床福祉学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 障害者福祉論
兼任	教授	袴田 俊一 (61) <平成28年10月> 文学修士	人間学
兼任	教授	八田 武志 (70) <平成28年4月> 文学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	平田 まり (65) <平成28年4月> 博士(医学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	福田 早苗 (44) <平成28年4月> 博士(医学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	水鳥 正二郎 (52) <平成28年4月> 理学博士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ 基礎数学 物理学入門
兼任	教授	水間 智哉 (49) <平成28年10月> 博士(農学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	峯松 正敏 (50) <平成28年10月> 博士(栄養学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	村松 陽治 (51) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	森 明彦 (64) <平成28年4月> 博士(文学)	総合教養Ⅰ-河内学-※ 人権教育 日本史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	津田 耕一 (55) <平成28年10月> 博士(臨床福祉学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 障害者福祉論
兼任	教授	袴田 俊一 (61) <平成28年10月> 文学修士	人間学
兼任	教授	八田 武志 (70) <平成28年4月> 文学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	藤岡 弘季 (45) <平成28年4月> 医学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	福田 早苗 (44) <平成28年4月> 博士(医学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	水鳥 正二郎 (52) <平成28年4月> 理学博士	情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ 基礎数学 物理学入門
兼任	講師	竹橋 洋毅 (37) <平成28年4月> 心理学博士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	教授	水間 智哉 (49) <平成28年10月> 博士(農学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	峯松 正敏 (50) <平成28年10月> 博士(栄養学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	村松 陽治 (51) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	森 明彦 (64) <平成28年4月> 博士(文学)	総合教養Ⅰ-河内学-※ 人権教育 日本史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	津田 耕一 (56) <平成28年10月> 博士(臨床福祉学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 障害者福祉論
兼任	教授	袴田 俊一 (62) <平成28年10月> 文学修士	人間学
兼任	教授	八田 武志 (71) <平成28年4月> 文学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	藤岡 弘季 (46) <平成28年4月> 医学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	福田 早苗 (45) <平成28年4月> 博士(医学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	水鳥 正二郎 (53) <平成28年4月> 理学博士	情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ 基礎数学 物理学入門
兼任	講師	竹橋 洋毅 (36) <平成28年4月> 心理学博士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	教授	水間 智哉 (50) <平成28年10月> 博士(農学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	峯松 正敏 (51) <平成28年10月> 博士(栄養学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	村松 陽治 (52) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	講師	森 明彦 (65) <平成29年4月> 博士(文学)	総合教養Ⅰ-河内学-※ 人権教育 日本史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	津田 耕一 (57) <平成28年10月> 博士(臨床福祉学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 障害者福祉論
兼任	教授	袴田 俊一 (63) <平成28年10月> 文学修士	人間学
兼任	教授	八田 武志 (72) <平成28年4月> 文学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	藤岡 弘季 (47) <平成28年4月> 医学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	福田 早苗 (46) <平成28年4月> 博士(医学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	水鳥 正二郎 (54) <平成30年4月> 理学博士	情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ 基礎数学 物理学入門 コンピュータサイエンス
兼任	准教授	竹橋 洋毅 (39) <平成30年4月> 心理学博士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	教授	水間 智哉 (51) <平成28年10月> 博士(農学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	峯松 正敏 (52) <平成28年10月> 博士(栄養学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	教授	村松 陽治 (53) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	講師	森 明彦 (66) <平成29年4月> 博士(文学)	総合教養Ⅰ-河内学-※ 人権教育 日本史

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	津田 耕一 (58) <平成28年10月> 博士(臨床福祉学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 障害者福祉論
兼任	教授	袴田 俊一 (64) <平成28年10月> 文学修士	人間学
兼任	教授	八田 武志 (73) <平成28年4月> 文学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	藤岡 弘季 (48) <平成28年4月> 医学博士	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	福田 早苗 (47) <平成28年4月> 博士(医学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※
兼任	教授	水鳥 正二郎 (54) <平成30年4月> 理学博士	情報処理学Ⅰ 情報処理学Ⅱ 基礎数学 物理学入門 コンピュータサイエンス
兼任	教授	亀島(最上)信也 (64) <平成31年4月> Ph.D(アメリカ)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	教授	水間 智哉 (52) <平成31年4月> 博士(農学)	総合教養Ⅳ-栄養-※ 総合教養Ⅰ-河内学-※
兼任	教授	峯松 正敏 (53) <平成31年4月> 博士(栄養学)	総合教養Ⅳ-栄養-※ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	教授	村松 陽治 (54) <平成28年10月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	講師	森 明彦 (67) <平成31年4月> 博士(文学)	総合教養Ⅰ-河内学-※ 日本史
兼任	准教授	松村 歌子 (43) <平成31年4月> 修士(法学)	人権教育

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	森 禎章 (53) <平成28年4月> 博士(医学)	基礎科学概論※
兼任	教授	安井 理夫 (56) <平成28年10月> 博士(臨床福祉学)	社会福祉
兼任	教授	山内 彰 (51) <平成28年4月> 文学修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅳ キャリアデザイン※ 子ども英語 初等英語
兼任	教授	山口 美和 (51) <平成28年4月> 博士(言語文化学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 社会学
兼任	教授	山田 富美雄 (65) <平成29年4月> 文学博士	健康心理学
兼任	教授	吉田 初恵 (56) <平成28年4月> 商学修士 経済学修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅰ-河内学-※ 経済学 キャリアデザイン※
兼任	教授	渡辺 正仁 (67) <平成28年4月> 医学博士	化学入門 生命科学概論※
兼任	准教授	有泉 みずほ (43) <平成28年10月> 修士(生活科学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	准教授	池上 徹 (45) <平成28年4月> 修士(教育学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ キャリアデザイン※ 生涯学習論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	森 禎章 (53) <平成28年4月> 博士(医学)	基礎科学概論※
兼任	教授	安井 理夫 (56) <平成28年10月> 博士(臨床福祉学)	社会福祉
兼任	教授	山内 彰 (51) <平成28年4月> 文学修士	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅳ キャリアデザイン※ 子ども英語 初等英語
兼任	教授	山口 美和 (51) <平成28年4月> 博士(言語文化学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 社会学
兼任	教授	山田 富美雄 (65) <平成29年4月> 文学博士	健康心理学
兼任	教授	吉田 初恵 (56) <平成28年4月> 商学修士 経済学修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅰ-河内学-※ 経済学 キャリアデザイン※
兼任	教授	渡辺 正仁 (67) <平成28年4月> 医学博士	化学入門 生命科学概論※
兼任	准教授	有泉 みずほ (43) <平成28年10月> 修士(生活科学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	准教授	池上 徹 (45) <平成28年4月> 修士(教育学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ キャリアデザイン※ 生涯学習論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	森 禎章 (54) <平成28年4月> 博士(医学)	基礎科学概論※
兼任	教授	安井 理夫 (57) <平成28年10月> 博士(臨床福祉学)	社会福祉
兼任	教授	山内 彰 (52) <平成28年4月> 文学修士	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅳ キャリアデザイン※ 子ども英語 初等英語
兼任	教授	山口 美和 (52) <平成28年4月> 博士(言語文化学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 社会学
兼任	教授	山田 富美雄 (65) <平成29年4月> 文学博士	健康心理学
兼任	教授	吉田 初恵 (57) <平成28年4月> 商学修士 経済学修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅰ-河内学-※ 経済学 キャリアデザイン※
兼任	教授	渡辺 正仁 (68) <平成28年4月> 医学博士	化学入門 生命科学概論※
兼任	准教授	有泉 みずほ (44) <平成28年10月> 修士(生活科学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	准教授	池上 徹 (46) <平成28年4月> 修士(教育学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅲ-健康の世界-※ キャリアデザイン※ 生涯学習論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	教授	森 禎章 (55) <平成28年4月> 博士(医学)	基礎科学概論※
兼任	教授	安井 理夫 (58) <平成28年10月> 博士(臨床福祉学)	社会福祉
兼任	教授	山内 彰 (53) <平成30年4月> 文学修士	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅳ キャリアデザイン※ 子ども英語 初等英語
兼任	教授	山口 美和 (53) <平成30年4月> 博士(言語文化学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 社会学 キャリアデザイン※
兼任	教授	山田 富美雄 (66) <平成29年4月> 文学博士	健康心理学
兼任	教授	吉田 初恵 (58) <平成28年4月> 商学修士 経済学修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅰ-河内学-※ 経済学 キャリアデザイン※
兼任	教授	渡辺 正仁 (69) <平成28年4月> 医学博士	化学入門 生命科学概論※
兼任	准教授	有泉 みずほ (45) <平成28年10月> 修士(生活科学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	准教授	池上 徹 (47) <平成30年4月> 修士(教育学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ キャリアデザイン※ 生涯学習論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	森 尚彰 (45) <平成31年4月> 修士(環境理工学)	基礎科学概論※
兼任	教授	安井 理夫 (59) <平成28年10月> 博士(臨床福祉学)	社会福祉
兼任	教授	山内 彰 (54) <平成30年4月> 文学修士	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅳ キャリアデザイン※ 子ども英語 初等英語
兼任	教授	山口 美和 (54) <平成30年4月> 博士(言語文化学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 社会学 キャリアデザイン※
兼任	教授	山田 富美雄 (67) <平成29年4月> 文学博士	健康心理学
兼任	教授	吉田 初恵 (59) <平成28年4月> 商学修士 経済学修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅰ-河内学-※ 経済学 キャリアデザイン※
兼任	講師	伊倉 宏司 (71) <平成31年4月> 農学博士	化学入門
兼任	教授	早崎 肇 (51) <平成31年4月> 博士(医学)	生命科学概論※
兼任	准教授	有泉 みずほ (46) <平成28年10月> 修士(生活科学)	総合教養Ⅳ-栄養-※
兼任	准教授	池上 徹 (48) <平成30年4月> 修士(教育学)	総合教養Ⅲ-健康の世界-※ キャリアデザイン※ 生涯学習論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	一村 小百合 (51) <平成28年4月> 修士(社会学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ レクリエーション論
兼任	准教授	木村 貴彦 (40) <平成28年4月> 博士(人間科学)
		総合教養Ⅲ－健康の世界－※
兼任	准教授	澤田 崇子 (54) <平成28年10月> 学術博士
		総合教養Ⅳ－栄養－※
兼任	准教授	治部 哲也 (45) <平成28年4月> 修士(文学)
		総合教養Ⅰ－河内学－※ 総合教養Ⅳ－栄養－※ 統計学
兼任	准教授	鈴木 具 (43) <平成28年4月> Ph. D in Philosophy (アメリカ)
		哲学 倫理学 道徳教育論 教育哲学
兼任	准教授	多田(鈴木)美香里 (43) <平成28年4月> 博士(情報科学)
		心理学
兼任	准教授	立花 直樹 (45) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	一村 小百合 (51) <平成28年4月> 修士(社会学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ レクリエーション論
兼任	准教授	木村 貴彦 (40) <平成28年4月> 博士(人間科学)
		総合教養Ⅲ－健康の世界－※
兼任	准教授	澤田 崇子 (54) <平成28年10月> 学術博士
		総合教養Ⅳ－栄養－※
兼任	准教授	治部 哲也 (45) <平成28年4月> 修士(文学)
		総合教養Ⅰ－河内学－※ 総合教養Ⅳ－栄養－※ 統計学 総合教養Ⅲ－健康の世界－※
兼任	准教授	鈴木 具 (43) <平成30年4月> Ph. D in Philosophy (アメリカ)
		哲学 倫理学 教育哲学
兼任	講師	小林 得太 (34) <平成30年4月> 修士(教育学)
		道徳教育論
兼任	准教授	多田(鈴木)美香里 (43) <平成28年4月> 博士(情報科学)
		心理学
兼任	准教授	立花 直樹 (45) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	一村 小百合 (52) <平成28年4月> 修士(社会学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ レクリエーション論
兼任	准教授	木村 貴彦 (41) <平成28年4月> 博士(人間科学)
		総合教養Ⅲ－健康の世界－※
兼任	准教授	澤田 崇子 (55) <平成28年10月> 学術博士
		総合教養Ⅳ－栄養－※
兼任	准教授	治部 哲也 (46) <平成28年4月> 修士(文学)
		総合教養Ⅰ－河内学－※ 総合教養Ⅳ－栄養－※ 統計学 総合教養Ⅲ－健康の世界－※
兼任	准教授	鈴木 具 (44) <平成29年4月> Ph. D in Philosophy (アメリカ)
		哲学 倫理学 教育哲学 キャリアデザイン※
兼任	講師	小林 得太 (35) <平成30年4月> 修士(教育学)
		道徳教育論
兼任	准教授	多田(鈴木)美香里 (44) <平成28年4月> 博士(情報科学)
		心理学
兼任	准教授	立花 直樹 (46) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	加藤 友野 (57) <平成30年4月> 修士(臨床福祉学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	一村 小百合 (53) <平成30年4月> 修士(社会学)
		レクリエーション論
兼任	准教授	久保 信代 (49) <平成30年4月> 教育学士
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	教授	木村 貴彦 (42) <平成30年4月> 博士(人間科学)
		総合教養Ⅲ－健康の世界－※
兼任	准教授	澤田 崇子 (56) <平成28年10月> 学術博士
		総合教養Ⅳ－栄養－※
兼任	教授	治部 哲也 (47) <平成30年4月> 修士(文学)
		総合教養Ⅰ－河内学－※ 総合教養Ⅳ－栄養－※ 統計学 総合教養Ⅲ－健康の世界－※
兼任	講師	小林 得太 (36) <平成30年4月> 修士(教育学)
		道徳教育論
兼任	准教授	久保田 祐歌 (43) <平成30年4月> 文学博士
		哲学 倫理学 教育哲学
兼任	教授	山口 美和 (53) <平成30年4月> 博士(言語文化学)
		キャリアデザイン※
兼任	准教授	多田(鈴木)美香里 (45) <平成28年4月> 博士(情報科学)
		心理学
兼任	准教授	立花 直樹 (46) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	加藤 友野 (58) <平成30年4月> 修士(臨床福祉学)
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	一村 小百合 (54) <平成30年4月> 修士(社会学)
		レクリエーション論
兼任	准教授	久保 信代 (50) <平成30年4月> 教育学士
		基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	教授	木村 貴彦 (43) <平成30年4月> 博士(人間科学)
		総合教養Ⅲ－健康の世界－※
兼任	准教授	澤田 崇子 (57) <平成28年10月> 学術博士
		総合教養Ⅳ－栄養－※
兼任	教授	治部 哲也 (48) <平成30年4月> 修士(文学)
		総合教養Ⅰ－河内学－※ 総合教養Ⅳ－栄養－※ 統計学 総合教養Ⅲ－健康の世界－※
兼任	講師	小林 得太 (37) <平成30年4月> 修士(教育学)
		道徳教育論
兼任	准教授	久保田 祐歌 (44) <平成30年4月> 文学博士
		哲学 倫理学 教育哲学
兼任	教授	山口 美和 (54) <平成30年4月> 博士(言語文化学)
		キャリアデザイン※
兼任	准教授	多田(鈴木)美香里 (46) <平成28年4月> 博士(情報科学)
		心理学
兼任	准教授	立花 直樹 (46) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	中島 裕 (51) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅰ－河内学－※ キャリアデザイン※
兼任	准教授	野口 法子 (56) <平成28年4月> 修士(教育学)	総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 発達障害児の指導法※ 発達障害児の指導法演習※
兼任	准教授	馬場 耕造 (66) <平成28年10月> 専門学校卒	総合教養Ⅳ－栄養－※
兼任	准教授	藤原 和美 (57) <平成28年4月> 博士(保健学)	総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 子どもの健康と安全※
兼任	准教授	松中 久美子 (52) <平成28年4月> 博士(心理学)	総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 人間関係論
兼任	准教授	松本 明美 (46) <平成28年4月> 修士(文学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ
兼任	准教授	山路 純子 (43) <平成28年4月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ－栄養－※ 基礎科学概論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	中島 裕 (51) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅰ－河内学－※ キャリアデザイン※
兼任	准教授	野口 法子 (56) <平成28年4月> 修士(教育学)	総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 発達障害児の指導法※ 発達障害児の指導法演習※
兼任	准教授	馬場 耕造 (66) <平成28年10月> 専門学校卒	総合教養Ⅳ－栄養－※
兼任	准教授	治部 哲也 (45) <平成28年4月> 修士(文学)	総合教養Ⅲ－健康の世界－※
兼任	講師	川村 小千代 (46) <平成30年10月> 修士(保健看護学)	子どもの健康と安全※
兼任	准教授	松中 久美子 (52) <平成28年4月> 博士(心理学)	総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 人間関係論
兼任	准教授	松本 明美 (46) <平成28年4月> 修士(文学)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ
兼任	准教授	山路 純子 (43) <平成28年4月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ－栄養－※ 基礎科学概論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	中島 裕 (52) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅰ－河内学－※ キャリアデザイン※
兼任	准教授	野口 法子 (57) <平成29年4月> 修士(教育学)	総合教養Ⅲ－健康の世界－※
専任	教授	島田 恭仁 (61) <平成29年4月> 博士(教育学)	発達障害児の指導法※ 発達障害児の指導法演習※
兼任	准教授	坂口 充弘 (51) <平成29年10月> 栄養学修士	総合教養Ⅳ－栄養－※
兼任	准教授	治部 哲也 (46) <平成28年4月> 修士(文学)	総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 人間関係論
兼任	講師	川村 小千代 (47) <平成30年10月> 修士(保健看護学)	子どもの健康と安全※
兼任	准教授	松中 久美子 (53) <平成28年4月> 博士(心理学)	総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 人間関係論
兼任	准教授	松本 明美 (47) <平成28年4月> 修士(文学)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ
兼任	准教授	山路 純子 (44) <平成28年4月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ－栄養－※ 基礎科学概論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	久保田 祐歌 (43) <平成30年4月> 文学博士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※
兼任	准教授	中島 裕 (53) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅰ－河内学－※ キャリアデザイン※
兼任	准教授	野口 法子 (58) <平成29年4月> 修士(教育学)	総合教養Ⅲ－健康の世界－※
専任	教授	島田 恭仁 (62) <平成29年4月> 博士(教育学)	発達障害児の指導法※ 発達障害児の指導法演習※
兼任	准教授	坂口 充弘 (52) <平成29年10月> 栄養学修士	総合教養Ⅳ－栄養－※
兼任	准教授	治部 哲也 (48) <平成30年4月> 修士(文学)	総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 人間関係論
兼任	講師	川村 小千代 (48) <平成30年10月> 修士(保健看護学)	子どもの健康と安全※
兼任	准教授	松中 久美子 (54) <平成28年4月> 博士(心理学)	総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 人間関係論
兼任	准教授	松本 明美 (48) <平成30年4月> 修士(文学)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ
兼任	准教授	山路 純子 (45) <平成28年4月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ－栄養－※ 基礎科学概論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	久保田 祐歌 (44) <平成30年4月> 文学博士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※
兼任	准教授	中島 裕 (54) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅰ－河内学－※ キャリアデザイン※
兼任	准教授	野口 法子 (59) <平成29年4月> 修士(教育学)	総合教養Ⅲ－健康の世界－※
専任	教授	島田 恭仁 (63) <平成29年4月> 博士(教育学)	発達障害児の指導法※ 発達障害児の指導法演習※
兼任	准教授	坂口 充弘 (53) <平成29年10月> 栄養学修士	総合教養Ⅳ－栄養－※
兼任	准教授	治部 哲也 (48) <平成30年4月> 修士(文学)	総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 人間関係論
兼任	講師	川村 小千代 (49) <平成30年10月> 修士(保健看護学)	子どもの健康と安全※
兼任	准教授	松中 久美子 (55) <平成28年4月> 博士(心理学)	総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 人間関係論
兼任	准教授	松本 明美 (49) <平成30年4月> 修士(文学)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ
兼任	准教授	山路 純子 (46) <平成31年4月> 博士(医学)	総合教養Ⅳ－栄養－※ 基礎科学概論※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	家高 将明 (39) <平成28年4月> 博士(臨床福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※
兼任	講師	小口 将典 (36) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※
兼任	講師	柿木 志津江 (41) <平成28年4月> 修士(保健福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※
兼任	講師	辻 陽子 (49) <平成28年4月> 修士(臨床福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	家高 将明 (39) <平成28年4月> 博士(臨床福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※
兼任	講師	小口 将典 (36) <平成28年4月> 修士(社会福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※
兼任	准教授	柿木 志津江 (41) <平成28年4月> 修士(保健福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※
兼任	講師	川村 小千代 (46) <平成28年4月> 修士(保健看護学)	総合教養Ⅲ-健康の世界 ※ 子どもの健康と安全※
兼任	講師	辻 陽子 (50) <平成28年4月> 修士(臨床福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	家高 将明 (40) <平成29年4月> 博士(臨床福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※
兼任	准教授	小口 将典 (37) <平成29年4月> 修士(社会福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※
兼任	准教授	柿木 志津江 (42) <平成28年4月> 修士(保健福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ キャリアデザイン※
兼任	講師	川村 小千代 (47) <平成28年4月> 修士(保健看護学)	総合教養Ⅲ-健康の世界 ※ 子どもの健康と安全※
兼任	助教	塩津 裕康 (32) <平成29年4月> 博士(理学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	家高 将明 (41) <平成30年4月> 博士(臨床福祉学)	キャリアデザイン※
兼任	講師	間井谷 容代 (51) <平成30年4月> 学士(学術)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	小口 将典 (38) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	キャリアデザイン※
兼任	教授	伊藤 利明 (66) <平成30年4月> 教育学博士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	教授	藤岡 弘季 (47) <平成30年4月> 医学博士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	川村 小千代 (48) <平成28年4月> 修士(保健看護学)	総合教養Ⅲ-健康の世界 ※ 子どもの健康と安全※
兼任	講師	北岡 かおり (35) <平成30年4月> 博士(学術)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	家高 将明 (42) <平成30年4月> 博士(臨床福祉学)	キャリアデザイン※
兼任	講師	松本 敏 (40) <平成31年4月> 博士(心理学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	小口 将典 (39) <平成30年4月> 修士(社会福祉学)	キャリアデザイン※
兼任	教授	伊藤 利明 (67) <平成30年4月> 教育学博士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	柿木 志津江 (44) <平成30年4月> 修士(保健福祉学)	キャリアデザイン※
兼任	准教授	松村 歌子 (43) <平成31年4月> 修士(法学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	川村 小千代 (49) <平成28年4月> 修士(保健看護学)	総合教養Ⅲ-健康の世界 ※ 子どもの健康と安全※
兼任	教授	峯松 正敏 (53) <平成31年4月> 博士(栄養学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	津田 恭亮 (37) <平成28年10月> 博士(心理学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※
兼任	講師	鼓 美紀 (39) <平成28年4月> 修士(臨床福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	津吉 哲士 (43) <平成28年10月> 修士(体育学)	総合教養Ⅳ-栄養※
兼任	講師	西井 正樹 (40) <平成28年4月> 修士(臨床福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	西村 節子 (58) <平成28年10月> 修士(保健学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 総合教養Ⅳ-栄養※
兼任	講師	藤井 有里 (47) <平成28年4月> 修士(臨床福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	實田(上杉)瑠子 (48) <平成28年4月> Master of Social Work	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	津田 恭亮 (37) <平成28年10月> 博士(心理学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※
兼任	講師	鼓 美紀 (39) <平成28年4月> 修士(臨床福祉学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	津吉 哲士 (43) <平成28年10月> 修士(体育学)	総合教養Ⅳ-栄養※
兼任	准教授	廣島 玲子 (57) <平成28年4月> 博士(理学療法)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	西村 節子 (58) <平成28年10月> 修士(保健学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 総合教養Ⅳ-栄養※
兼任	教授	甲斐 悟 (50) <平成28年4月> 保健学博士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	實田(上杉)瑠子 (48) <平成28年4月> Master of Social Work	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	津田 恭亮 (38) <平成28年10月> 博士(心理学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※
兼任	助教	中山 淳 (37) <平成29年4月> 医学博士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	津吉 哲士 (44) <平成28年10月> 修士(体育学)	総合教養Ⅳ-栄養※
兼任	准教授	廣島 玲子 (58) <平成28年4月> 博士(理学療法)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	西村 節子 (59) <平成29年4月> 修士(保健学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 総合教養Ⅳ-栄養※
兼任	教授	甲斐 悟 (51) <平成28年4月> 保健学博士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	實田(上杉)瑠子 (49) <平成28年4月> Master of Social Work	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	津田 恭亮 (39) <平成28年10月> 博士(心理学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※
兼任	助教	中山 淳 (38) <平成29年4月> 医学博士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	津吉 哲士 (45) <平成30年4月> 修士(体育学)	総合教養Ⅳ-栄養※ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	廣島 玲子 (59) <平成28年4月> 博士(理学療法)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	西村 節子 (60) <平成29年4月> 修士(保健学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 総合教養Ⅳ-栄養※
兼任	教授	甲斐 悟 (52) <平成28年4月> 保健学博士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	三田村 知子 (42) <平成30年4月> 臨床福祉学修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	津田 恭亮 (40) <平成31年4月> 博士(心理学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※
兼任	助教	本多 伸行 (36) <平成31年4月> 修士(保健学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	津吉 哲士 (46) <平成31年4月> 修士(体育学)	総合教養Ⅳ-栄養※ 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	廣島 玲子 (60) <平成28年4月> 博士(理学療法)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	准教授	西村 節子 (61) <平成29年4月> 修士(保健学)	総合教養Ⅱ-「こころ」について学ぶ※ 総合教養Ⅳ-栄養※
兼任	講師	工藤 芳幸 (41) <平成31年4月> 言語学修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	三田村 知子 (43) <平成30年4月> 臨床福祉学修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	松村 歌子 (40) <平成28年4月> 修士(法学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 法学 日本国憲法 キャリアデザイン※
兼任	講師	森 尚彰 (44) <平成30年10月> 修士(環境理工学)	聴覚障害教育総論
兼任	講師	由利 禎巳 (51) <平成28年4月> 修士(保健学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	助教	中野 禎 (43) <平成28年4月> 修士(医学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	青野 晴美 (62) <平成30年4月> 学士(社会学)	子どもの保健Ⅲ
兼任	講師	赤崎 節子 (68) <平成30年4月> 教育学士 芸術学士	教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園)
兼任	講師	秋吉 博之 (63) <平成29年10月> 博士(学術)	初等教科教育法(理科)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	松村 歌子 (40) <平成28年4月> 修士(法学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 法学 日本国憲法 キャリアデザイン※
兼任	講師	森 尚彰 (42) <平成28年4月> 修士(環境理工学)	聴覚障害教育総論 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	由利 禎巳 (51) <平成28年4月> 修士(保健学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	森 尚彰 (42) <平成28年4月> 修士(環境理工学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	青野 晴美 (60) <平成30年4月> 学士(社会学)	子どもの保健Ⅲ
兼任	講師	赤崎 節子 (66) <平成30年4月> 教育学士 芸術学士	教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園)
兼任	講師	秋吉 博之 (63) <平成29年10月> 博士(学術)	初等教科教育法(理科)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	松村 歌子 (41) <平成28年4月> 修士(法学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 法学 日本国憲法 キャリアデザイン※
兼任	講師	森 尚彰 (43) <平成28年4月> 修士(環境理工学)	聴覚障害教育総論 基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	由利 禎巳 (52) <平成28年4月> 修士(保健学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	森 尚彰 (43) <平成28年4月> 修士(環境理工学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	青野 晴美 (61) <平成30年4月> 学士(社会学)	子どもの保健Ⅲ
兼任	講師	赤崎 節子 (67) <平成30年4月> 教育学士 芸術学士	教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園)
兼任	講師	秋吉 博之 (63) <平成29年10月> 博士(学術)	初等教科教育法(理科)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	松村 歌子 (42) <平成28年4月> 修士(法学)	総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 法学 日本国憲法 キャリアデザイン※
兼任	講師	津吉 哲士 (45) <平成30年4月> 修士(体育学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	森 尚彰 (44) <平成30年4月> 修士(環境理工学)	聴覚障害教育総論
兼任	助教	有末 伊織 (34) <平成30年4月> 健康福祉修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	酒井 希代江 (38) <平成30年4月> 人間・環境学修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	助教	砂川 新作 (35) <平成30年4月> リハビリテーション学 修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	助教	有末 伊織 (34) <平成30年4月> 健康福祉修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	青野 晴美 (62) <平成30年4月> 学士(社会学)	子どもの保健Ⅲ
兼任	講師	赤崎 節子 (68) <平成30年4月> 教育学士 芸術学士	教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園)
兼任	講師	秋吉 博之 (64) <平成29年10月> 博士(学術)	初等教科教育法(理科)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	松村 歌子 (43) <平成31年4月> 修士(法学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ 総合教養Ⅲ－健康の世界－※ 法学 日本国憲法 キャリアデザイン※ 人権教育
兼任	准教授	津吉 哲士 (46) <平成31年4月> 修士(体育学)	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	森 尚彰 (45) <平成31年4月> 修士(環境理工学)	聴覚障害教育総論 基礎科学概論※
兼任	助教	有末 伊織 (35) <平成30年4月> 健康福祉修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	酒井 希代江 (39) <平成30年4月> 人間・環境学修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	助教	砂川 新作 (36) <平成30年4月> リハビリテーション学 修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	助教	有末 伊織 (35) <平成30年4月> 健康福祉修士	基礎ゼミナールⅠ 基礎ゼミナールⅡ
兼任	講師	青野 晴美 (63) <平成30年4月> 学士(社会学)	子どもの保健Ⅲ
兼任	講師	赤崎 節子 (69) <平成30年4月> 教育学士 芸術学士	教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園)
兼任	講師	秋吉 博之 (65) <平成29年10月> 博士(学術)	初等教科教育法(理科)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	岡本 京子 (67) <平成28年10月> 准学士(保育学)	障害児保育 乳児保育
兼任	講師	金子 正子 (66) <平成30年10月> 修士(教育学)	初等教科教育法(英語)
兼任	講師	河合 優年 (64) <平成28年4月> 博士(教育心理学)	保育者論 保育方法論 幼児理解の理論と方法
兼任	講師	清水 益治 (53) <平成28年4月> 博士(教育学)	保育者論
兼任	講師	加藤 ひとみ (64) <平成29年4月> 教職修士(専門職)	保育方法論
兼任	講師	川口 剛 (50) <平成28年4月> 修士(教育学)	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II
兼任	講師	小林 和代 (51) <平成28年4月> 修士(文学)	中国語 I 中国語 II
兼任	講師	阪野 学 (54) <平成29年4月> 社会学士	社会的養護 社会的養護内容
兼任	講師	竹田 功 (57) <平成29年4月> 文学士	社会的養護 社会的養護内容
兼任	講師	田邊 哲雄 (50) <平成30年4月> 臨床教育学修士	社会的養護 社会的養護内容

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	岡本 京子 (67) <平成28年10月> 准学士(保育学)	障害児保育 乳児保育
兼任	講師	加藤 典子 (51) <平成28年4月> 博士(文学)	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II
兼任	講師	金子 正子 (64) <平成30年10月> 修士(教育学)	初等教科教育法(英語)
兼任	講師	河合 優年 (64) <平成28年4月> 博士(教育心理学)	幼児理解の理論と方法
兼任	講師	清水 益治 (53) <平成28年4月> 博士(教育学)	保育者論
兼任	講師	加藤 ひとみ (64) <平成29年4月> 教職修士(専門職)	保育方法論
兼任	講師	川口 剛 (50) <平成28年4月> 修士(教育学)	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II
兼任	講師	小林 和代 (51) <平成28年4月> 修士(文学)	中国語 I 中国語 II
兼任	講師	阪野 学 (53) <平成29年4月> 社会学士	社会的養護 社会的養護内容
兼任	講師	竹田 功 (57) <平成29年4月> 文学士	社会的養護 社会的養護内容
兼任	講師	田邊 哲雄 (51) <平成30年4月> 臨床教育学修士	社会的養護 社会的養護内容

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	岡本 京子 (68) <平成28年10月> 准学士(保育学)	障害児保育 乳児保育
兼任	講師	加藤 典子 (52) <平成28年4月> 博士(文学)	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II
兼任	講師	金子 正子 (65) <平成30年10月> 修士(教育学)	初等教科教育法(英語)
兼任	講師	河合 優年 (65) <平成28年4月> 博士(教育心理学)	幼児理解の理論と方法
専任	教授	横川 喜美代 (65) <平成29年4月>	保育者論
兼任	講師	永井 久美子 (41) <平成29年4月> 教育学修士	保育方法論
兼任	講師	川口 剛 (51) <平成29年4月> 修士(教育学)	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV
兼任	講師	小林 和代 (52) <平成28年4月> 修士(文学)	中国語 I 中国語 II
兼任	講師	竹田 功 (57) <平成29年4月> 文学士	社会的養護 社会的養護内容
兼任	講師	田邊 哲雄 (50) <平成30年4月> 臨床教育学修士	社会的養護 社会的養護内容

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	岡本 京子 (69) <平成28年10月> 准学士(保育学)	障害児保育 乳児保育
兼任	講師	加藤 典子 (53) <平成28年4月> 博士(文学)	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II
兼任	講師	金子 正子 (66) <平成30年10月> 修士(教育学)	初等教科教育法(英語)
兼任	講師	河合 優年 (66) <平成28年4月> 博士(教育心理学)	幼児理解の理論と方法
専任	教授	横川 喜美代 (66) <平成29年4月>	保育者論
兼任	講師	永井 久美子 (42) <平成29年4月> 教育学修士	保育方法論
兼任	講師	川口 剛 (52) <平成29年4月> 修士(教育学)	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV
兼任	講師	小林 和代 (53) <平成28年4月> 修士(文学)	中国語 I 中国語 II
兼任	講師	田邊 哲雄 (51) <平成30年4月> 臨床教育学修士	社会的養護 社会的養護内容

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	岡本 京子 (70) <令和2年10月> 准学士(保育学)	障害児保育 乳児保育 I
兼任	講師	加藤 典子 (54) <平成31年4月> 博士(文学)	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV
兼任	講師	金子 正子 (67) <平成30年10月> 修士(教育学)	初等教科教育法(英語)
兼任	講師	河合 優年 (67) <平成31年4月> 博士(教育心理学)	幼児理解の理論と方法※
兼任	講師	村上 凡子 (61) <平成31年4月> 博士(臨床教育学)	幼児理解の理論と方法※
専任	教授	横川 喜美代 (67) <平成29年4月>	保育者論
兼任	講師	永井 久美子 (43) <平成29年4月> 教育学修士	保育方法論
兼任	講師	川口 剛 (53) <平成29年4月> 修士(教育学)	英語コミュニケーション I 英語コミュニケーション II 英語コミュニケーション III 英語コミュニケーション IV
兼任	講師	小林 和代 (54) <平成28年4月> 修士(文学)	中国語 I 中国語 II
兼任	講師	田邊 哲雄 (51) <平成30年4月> 臨床教育学修士	社会的養護 社会的養護内容

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	宿谷(金児)仁美 (45) <平成29年4月> 修士(教育学)	外国語で親しむ心理学
兼任	講師	須田 正信 (66) <平成31年4月> 修士(教育学)	肢体不自由教育論
兼任	講師	関口 靖之 (58) <平成28年10月> 教育学修士	地理学
兼任	講師	高木 信良 (67) <平成28年10月> 体育学士	体育実技 保育内容演習(健康)※
兼任	講師	高橋 登 (57) <平成29年4月> 博士(教育学)	保育内容演習(言葉)
兼任	講師	玉置 良行 (49) <平成28年4月> 修士(文学)	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	堤 俊彦 (59) <平成30年10月> Ed. D 教育学博士	情緒障害教育概論
兼任	講師	寺井(阿部)朋子 (36) <平成28年4月> 博士(臨床教育学)	保育者論 保育方法論
兼任	講師	清水 益治 (53) <平成28年4月> 博士(教育学)	保育者論
兼任	講師	加藤 ひとみ (64) <平成29年4月> 教職修士(専門職)	保育方法論
兼任	講師	永井 久美子 (41) <平成29年4月> 教育学修士	保育方法論
兼任	講師	豊沢(竹橋)純子 (47) <平成30年10月> 博士(心理学)	子どもの健康と安全※
兼任	講師	中戸 一子 (68) <平成28年4月> 修士(文学)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	宿谷(金児)仁美 (45) <平成29年4月> 修士(教育学)	外国語で親しむ心理学
兼任	講師	須田 正信 (63) <平成31年4月> 修士(教育学)	肢体不自由教育論
兼任	講師	関口 靖之 (58) <平成28年10月> 教育学修士	地理学
兼任	講師	高木 信良 (67) <平成28年10月> 体育学士	体育実技 保育内容演習(健康)※
兼任	講師	高橋 登 (56) <平成29年4月> 博士(教育学)	保育内容演習(言葉)
兼任	講師	玉置 良行 (49) <平成28年4月> 修士(文学)	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	堤 俊彦 (57) <平成30年10月> Ed. D 教育学博士	情緒障害教育概論
兼任	講師	清水 益治 (53) <平成28年4月> 博士(教育学)	保育者論
兼任	講師	加藤 ひとみ (64) <平成29年4月> 教職修士(専門職)	保育方法論
兼任	講師	永井 久美子 (41) <平成29年4月> 教育学修士	保育方法論
兼任	講師	豊沢(竹橋)純子 (45) <平成30年10月> 博士(心理学)	子どもの健康と安全※
兼任	講師	中戸 一子 (69) <平成29年4月> 修士(文学)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	宿谷(金児)仁美 (45) <平成29年4月> 修士(教育学)	外国語で親しむ心理学
兼任	講師	須田 正信 (64) <平成31年4月> 修士(教育学)	肢体不自由教育論
兼任	講師	関口 靖之 (59) <平成28年10月> 教育学修士	地理学
兼任	講師	高木 信良 (68) <平成29年10月> 体育学士	体育実技 保育内容演習(健康)※
兼任	講師	石川 美久 (37) <平成29年10月> 修士(体育学)	体育実技
兼任	講師	高橋 登 (57) <平成29年4月> 博士(教育学)	保育内容演習(言葉)
兼任	講師	玉置 良行 (50) <平成28年4月> 修士(文学)	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	堤 俊彦 (58) <平成30年10月> Ed. D 教育学博士	情緒障害教育概論
専任	教授	橋川 喜美代 (65) <平成29年4月>	保育者論
兼任	講師	永井 久美子 (42) <平成29年4月> 教育学修士	保育方法論
兼任	講師	豊沢(竹橋)純子 (46) <平成30年10月> 博士(心理学)	子どもの健康と安全※
兼任	講師	中戸 一子 (69) <平成29年4月> 修士(文学)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	宿谷(金児)仁美 (46) <平成29年4月> 修士(教育学)	外国語で親しむ心理学
兼任	講師	須田 正信 (65) <平成31年4月> 修士(教育学)	肢体不自由教育論
兼任	講師	関口 靖之 (60) <平成28年10月> 教育学修士	地理学
兼任	講師	高木 信良 (69) <平成29年10月> 体育学士	体育実技 保育内容演習(健康)※
兼任	講師	石川 美久 (38) <平成29年10月> 修士(体育学)	体育実技
兼任	講師	高橋 登 (58) <平成29年4月> 博士(教育学)	保育内容演習(言葉)
兼任	講師	玉置 良行 (51) <平成28年4月> 修士(文学)	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	堤 俊彦 (59) <平成30年10月> Ed. D 教育学博士	情緒障害教育概論
専任	教授	橋川 喜美代 (66) <平成29年4月>	保育者論
兼任	講師	永井 久美子 (43) <平成29年4月> 教育学修士	保育方法論
兼任	講師	豊沢(竹橋)純子 (47) <平成30年10月> 博士(心理学)	子どもの健康と安全※
兼任	講師	中戸 一子 (70) <平成29年4月> 修士(文学)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	宿谷(金児)仁美 (46) <平成29年4月> 修士(教育学)	外国語で親しむ心理学
兼任	講師	須田 正信 (66) <平成31年4月> 修士(教育学)	肢体不自由教育論
兼任	講師	関口 靖之 (61) <平成28年10月> 教育学修士	地理学
兼任	講師	高木 信良 (70) <平成29年10月> 体育学士	体育実技 保育内容演習(健康)※
兼任	講師	石川 美久 (39) <平成29年10月> 修士(体育学)	体育実技
兼任	講師	高橋 登 (59) <平成29年4月> 博士(教育学)	保育内容演習(言葉)
兼任	講師	玉置 良行 (52) <平成28年4月> 修士(文学)	フランス語Ⅰ フランス語Ⅱ
兼任	講師	堤 俊彦 (60) <平成30年10月> Ed. D 教育学博士	情緒障害教育概論
専任	教授	橋川 喜美代 (67) <平成29年4月>	保育者論
兼任	講師	永井 久美子 (43) <平成29年4月> 教育学修士	保育方法論
兼任	講師	豊沢(竹橋)純子 (48) <平成30年10月> 博士(心理学)	子どもの健康と安全※
兼任	講師	中戸 一子 (71) <平成29年4月> 修士(文学)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	正木(大又)みき (47) <平成28年4月> 修士(文学)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
兼任	講師	的場 輝佳 (73) <平成28年4月> 農学博士	総合教養Ⅰ－河内学－※
兼任	講師	村上 凡子 (60) <平成30年4月> 博士 (臨床教育学)	教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 保育教職実践演習(幼稚園)
兼任	講師	山本 利和 (62) <平成30年10月> 博士(文学)	視覚障害教育総論
兼任可			知的障害者の指導基礎論
兼任可			幼児体育

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	立脇 一美 (57) <平成29年4月> 学士 (社会福祉学)	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ
兼任	講師	正木(大又)みき (47) <平成28年4月> 修士(文学)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
兼任	講師	松浦 弘司 (68) <平成29年4月> 文学士	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
兼任	講師	的場 輝佳 (73) <平成28年4月> 農学博士	総合教養Ⅰ－河内学－※
兼任	講師	村上 凡子 (58) <平成30年4月> 博士 (臨床教育学)	教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 保育教職実践演習(幼稚園)
兼任	講師	山本 利和 (60) <平成30年10月> 博士(文学)	視覚障害教育総論
			知的障害者の指導基礎論
兼任	講師	高木 信良 (67) <平成28年10月> 体育学士	幼児体育

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	立脇 一美 (58) <平成29年4月> 学士 (社会福祉学)	子どもの保健Ⅰ 子どもの保健Ⅱ
兼任	講師	正木(大又)みき (48) <平成28年4月> 修士(文学)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
兼任	講師	松浦 弘司 (69) <平成29年4月> 文学士	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
兼任	講師	的場 輝佳 (74) <平成28年4月> 農学博士	総合教養Ⅰ－河内学－※
兼任	講師	村上 凡子 (59) <平成30年4月> 博士 (臨床教育学)	教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 保育教職実践演習(幼稚園)
兼任	講師	山本 利和 (61) <平成30年10月> 博士(文学)	視覚障害教育総論
			知的障害者の指導基礎論
兼任	講師	高木 信良 (68) <平成28年10月> 体育学士	幼児体育

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	立脇 一美 (59) <平成30年4月> 学士 (社会福祉学)	子どもの保健Ⅱ
兼任	教授	藤岡 弘季 (47) <平成30年4月> 医学博士	子どもの保健Ⅰ※
兼任	講師	藤田 敬之助 (70) <平成30年4月> 学士(医学)	子どもの保健Ⅰ※
兼任	講師	正木(大又)みき (49) <平成28年4月> 修士(文学)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
兼任	講師	松浦 弘司 (70) <平成29年4月> 文学士	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
兼任	講師	的場 輝佳 (75) <平成28年4月> 農学博士	総合教養Ⅰ－河内学－※
兼任	講師	村上 凡子 (60) <平成30年4月> 博士 (臨床教育学)	教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園) 保育教職実践演習(幼稚園)
兼任	講師	山本 利和 (62) <平成30年10月> 博士(文学)	視覚障害教育総論
専任	准教授	堀田 千絵 (37) <平成30年10月> 博士(心理学)	知的障害者の指導基礎論
兼任	講師	高木 信良 (69) <平成28年10月> 体育学士	幼児体育

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 年月 <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	講師	立脇 一美 (60) <平成30年4月> 学士 (社会福祉学)	子どもの保健Ⅱ
兼任	教授	藤岡 弘季 (48) <平成31年4月> 医学博士	子どもの保健Ⅰ
兼任	講師	正木(大又)みき (50) <平成28年4月> 修士(文学)	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
兼任	講師	松浦 弘司 (71) <平成29年4月> 文学士	英語コミュニケーションⅠ 英語コミュニケーションⅡ 英語コミュニケーションⅢ 英語コミュニケーションⅣ
兼任	教授	水間 智哉 (52) <平成31年4月> 博士(農学)	総合教養Ⅰ－河内学－※
兼任	講師	村上 凡子 (61) <平成31年4月> 博士 (臨床教育学)	教育実習(幼稚園) 教育実習事前事後指導(幼稚園)
兼任	講師	山本 利和 (63) <平成30年10月> 博士(文学)	視覚障害教育総論
専任	准教授	堀田 千絵 (38) <平成30年10月> 博士(心理学)	知的障害者の指導基礎論
兼任	講師	高木 信良 (70) <平成28年10月> 体育学士	幼児体育

専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等	専任・ 兼任・ 兼任の 別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 > 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
														兼地(吉岡)典絵 (50) <令和3年10月> 博士(教育学)
														子ども家庭支援の心理学
														堀田 千絵 (38) <令和3年10月> 博士(心理学)
														幼児特別支援教育学
														鎌田 次郎 (67) <令和3年4月> 学術修士
														乳児保育Ⅱ
														加藤 美朝 (58) <令和3年10月> 修士(学校教育)
														児童特別支援教育学

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
 その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください)。
 ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成28年度】

- ・専任教授 岡本雅子「保育教育課程論」について、教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を兼任講師 西本望に変更。
- ・専任教授 生野 金三「生徒・進路指導論」について、教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を兼任講師 瀧野揚三に変更すると共に授業の方式を単独に変更。
- ・専任教授 高塚 桂子「保育内容演習（表現Ⅱ）」について、教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を兼任講師 廣津友香に変更。
- ・専任准教授 築地(吉岡)典絵について、教職課程認定審査の審査意見に伴い、「教育相談の基礎※」「教育相談の理論と方法※」を新川 泰弘とのオムニバス科目に追加(平成29年3月AC教員審査提出予定)。
- ・専任准教授 築地(吉岡)典絵「生徒・進路指導論」について、教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を兼任講師 瀧野揚三に変更すると共に授業の方式を単独に変更。
- ・専任准教授 新川 泰弘「教育相談の基礎※」について、教職課程認定審査の審査意見に伴い、築地(吉岡)典絵とのオムニバス方式に変更。
- ・専任准教授 新川 泰弘「教育相談の理論と方法※」について、教職課程認定審査の審査意見に伴い、築地(吉岡)典絵とのオムニバス方式に変更。
- ・専任准教授 西元(山本)直美「保育内容演習(人間関係)※」について、教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を兼任講師 坂口哲司に変更。
- ・兼任教授 齊藤千鶴の就任辞退に伴い、「社会福祉概論」の担当教員を兼任講師 滝上圭太に変更。
- ・兼任教授 平田まりの退職に伴い、「総合教養Ⅲ-健康の世界-※」の担当者を兼任教授 藤岡弘季に変更。
- ・兼任教授 水島正二郎の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任講師 竹橋洋毅に変更。
- ・兼任教授 山内彰「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」について、現員で対応可能なため後任補充なし。
- ・兼任准教授 藤原和美の退職に伴い、兼任准教授 治部哲也の担当科目として「総合教養Ⅲ-健康の世界-※」を追加。
- ・兼任准教授 鈴木真「道徳教育論」について、教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を兼任講師 小林得太に変更。
- ・兼任准教授 藤原和美の退職に伴い、「総合教養Ⅲ-健康の世界-※」を兼任准教授 治部哲也に、「子どもの健康と安全※」を兼任講師 川村小千代に担当者を変更。
- ・兼任准教授 松本明美「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」について、現員で対応可能なため後任補充なし。
- ・兼任講師 柿木志津江が准教授に昇任。
- ・兼任講師 川村小千代について、「総合教養Ⅲ-健康の世界-※」の教育内容の充実を図るためオムニバス担当者として追加、平田まりの退職に伴い「子どもの健康と安全※」を担当。
- ・兼任講師 西井正樹の退職に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任准教授 廣島玲子に変更。
- ・兼任講師 藤井有里の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任教授 甲斐悟に変更。
- ・兼任講師 寶田(上杉)玲子が准教授に昇任。
- ・兼任講師 松村歌子が准教授に昇任。
- ・兼任講師 森尚彰について、兼任助教 中野禎の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当として追加。
- ・兼任助教 中野禎の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任講師 森尚彰に変更。
- ・兼任講師 イアン・ハリス・キャンベルの就任辞退に伴い、「オーラルコミュニケーション」の担当者を兼任講師 磯崎恵子に変更。
- ・兼任講師 太田直希の就任辞退に伴い、「保健体育」の担当者を兼任講師 山崎英幸に、「体育実技」を兼任講師 三村達也に変更。
- ・兼任講師 大又 巧也の一部就任辞退に伴い、「情報処理Ⅰ、Ⅱ」の担当者を兼任講師 中谷聡に変更。
- ・兼任講師 加藤典子について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 河合優年「保育者論」「保育方法論」について、教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を兼任講師 清水益治と兼任講師 加藤ひとみに変更すると共に授業の方式を単独とした。
- ・兼任講師 川口剛について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 宿谷(金児)仁美について、心理科学科専任教員として採用されたことに伴い兼任講師に変更。
- ・兼任講師 寺井(阿部)朋子「保育者論」「保育方法論」について、教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を兼任講師 清水益治と兼任講師 加藤ひとみに変更すると共に授業の方式を単独とした。
- ・兼任講師 中戸一子について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 西美江「教育課程論」について、教職課程認定申請の審査意見に伴い、担当者を兼任講師 生野桂子に変更。
- ・兼任講師 波能満について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 廣津友香について、教職課程認定申請の審査意見に伴い、「保育内容演習(表現Ⅱ)」を担当科目として追加。
- ・兼任講師 福田完治について、教育内容の充実を図るため「情報処理Ⅰ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 藤原由美について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 松浦弘司について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ」の担当教員として追加。
- ・専任准教授 堀田千絵について、補正申請に係る教員審査結果に伴い、「知的障害者の指導基礎論」を担当(平成29年10月AC教員審査提出予定)。
- ・兼任講師 高木信良について、補正申請に係る教員審査結果に伴い、「幼児体育」を担当。

【平成29年度】

- ・専任教授 岡本雅子の退職に伴い担当者を専任教授 橋川喜美代に変更（平成29年1月AC教員審査済）。
- ・専任教授 島田恭仁について、教学運営を円滑に行うため担当科目を見直し。「発達障害児の指導法※」「発達障害児の指導法演習※」については、兼任准教授 野口法子の就任辞退に伴い担当科目として追加（平成28年11月AC教員審査済）。
- ・専任教授 橋川喜美代について、専任教授 岡本雅子の退職に伴い新規採用（平成29年1月AC教員審査済）。
- ・専任教授 宮野安治「キャリアデザイン※」について、教学運営を円滑に行うため兼任准教授 鈴木真に担当者を変更。
- ・専任准教授 築地(吉岡)典絵について、教職課程認定審査の審査意見に伴い、「教育相談の基礎※」「教育相談の理論と方法※」を新川 泰弘とのオムニバス科目として追加（平成28年11月AC教員審査済）。
- ・専任准教授 新川泰弘「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」について、教学運営を円滑に行うため専任教授 島田恭仁に担当者を変更（平成28年11月AC教員審査済）。
- ・兼任講師 坂口哲司「保育内容演習（人間関係）※」について、就任辞退に伴い、担当者を兼任講師 杉村智子に変更。
- ・兼任教授 相谷登について、教学運営を円滑に行うため「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当替え。現員で対応可能なため後任補充なし。
- ・兼任教授 志水秀郎の退職に伴い、「総合教養Ⅳ-栄養※」の担当教員を兼任教授 中村敏子に変更
- ・兼任教授 森明彦の退職に伴い、職名を兼任講師に変更。
- ・兼任准教授 鈴木真について、教学運営を円滑に行うため「キャリアデザイン※」の担当教員として追加。
- ・兼任准教授 野口法子の就任辞退に伴い、「発達障害児の指導法※」「発達障害児の指導法演習※」の担当者を専任教授 島田恭仁に変更（平成28年11月AC教員審査済）。
- ・兼任准教授 馬場耕造の退職に伴い、「総合教養Ⅳ-栄養※」の担当者を兼任准教授 坂口充弘に変更。
- ・兼任講師 家高将明が准教授に昇任。
- ・兼任講師 小口将典が准教授に昇任。
- ・兼任講師 辻陽子の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任助教 塩津裕康に変更。
- ・兼任講師 鼓美紀の退職に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任助教 中山淳に変更。
- ・兼任講師 西村節子が准教授に昇任。
- ・兼任講師 磯崎恵子の就任辞退に伴い、「オーラルコミュニケーション」の担当者を兼任講師 新庄谷洋子に変更。
- ・兼任講師 山崎英幸の就任辞退に伴い、「保健体育」の担当者を兼任講師 日暮恭子に変更。
- ・兼任講師 清水益治の就任辞退に伴い、「保育者論」の担当者を専任教授 橋川喜美代に変更（平成29年1月AC教員審査済）。
- ・兼任講師 加藤ひとみの就任辞退に伴い、「保育方法論」の担当者を兼任講師 永井久美子に変更。
- ・兼任講師 川口剛について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 阪野学の就任辞退に伴い、「社会的養護」「社会的養護内容」の担当者を兼任講師 竹田功に変更。
- ・兼任講師 高木信良の就任辞退に伴い、「体育実技」の担当者を兼任講師 石川美久に変更。
- ・兼任講師 清水益治の就任辞退に伴い、「保育者論」の担当者を専任教授 橋川喜美代に変更（平成29年1月AC教員審査済）。
- ・兼任講師 加藤ひとみの就任辞退に伴い、「保育方法論」の担当者を兼任講師 永井久美子に変更。
- ・兼任講師 中戸一子について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 波能満の就任辞退及び全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅠ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ」の担当者を兼任講師 新庄谷洋子に変更。
- ・兼任講師 藤原由美について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」の担当教員として追加。
- ・兼任講師 前川寿子の就任辞退に伴い、「子どもの保健Ⅰ、Ⅱ」の担当者を兼任講師 立脇一美に変更。
- ・兼任講師 松浦弘司について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」の担当教員として追加。

【平成30年度】

- ・兼任講師 西元望の就任辞退に伴い、「保育教育課程論」の担当者を兼任講師 追共に変更。
- ・兼任准教授 鈴木真の退職に伴い、「キャリアデザイン※」の担当者を兼任教授 山口美和に変更。
- ・専任准教授 堀田千絵について、補正申請に係る教員審査結果に伴い、「知的障害者の指導基礎論」を担当科目に追加。（平成30年1月AC教員審査済）
- ・兼任教授 水島正二郎について、兼任講師 大又巧也の就任辞退に伴い「コンピュータサイエンス」を担当科目に追加。
- ・兼任講師 竹橋洋毅が准教授に昇任。
- ・兼任教授 山内彰について、全学共通で授業を運営するため、「英語コミュニケーションⅢ、Ⅳ」を担当科目より削除。現員で対応可能なため後任補充なし。
- ・兼任教授 山口美和について、兼任准教授 鈴木真の退職に伴い、「キャリアデザイン※」を担当科目に追加。
- ・兼任准教授 池上徹の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任准教授 加藤友野に変更。
- ・兼任准教授 一村小百合の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任准教授 久保信代に変更。
- ・兼任准教授 木村貴彦が教授に昇任。
- ・兼任准教授 治節哲也が教授に昇任。
- ・兼任准教授 鈴木真の退職に伴い、「哲学」、「倫理学」、「教育哲学」の担当者を兼任准教授 久保田祐歌に変更及び「キャリアデザイン※」の担当者を兼任教授 山口美和に変更。
- ・兼任准教授 立花直樹の退職に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」、「キャリアデザイン※」の担当者を兼任准教授 久保田祐歌に変更。
- ・兼任准教授 松本明美が教授に昇任。
- ・兼任准教授 家高将明の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任講師 間井谷容代に変更。
- ・兼任准教授 小口将典の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任教授 伊藤利明に変更。
- ・兼任准教授 楠木志津江の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任教授 藤岡弘季に変更。
- ・兼任助教 塩津裕康の退職に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任講師 北岡かおりに変更。
- ・兼任講師 津吉哲士について、兼任准教授 松村歌子の就任辞退に伴い「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」を担当科目に追加。
- ・兼任准教授 寶田(上杉)玲子の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任講師 三田村知子に変更。
- ・兼任准教授 松村歌子の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任講師 津吉哲士に変更。
- ・兼任講師 森尚彰の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任助教 有末伊織に変更。
- ・兼任講師 由利緑巳の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当者を兼任講師 酒井希代江に変更。
- ・兼任助教 砂川耕作について、全学共通で授業を運営するため、「基礎ゼミナールⅠ、Ⅱ」の担当教員に追加。
- ・兼任講師 大又巧也の就任辞退に伴い、「コンピュータサイエンス」の担当者を兼任教授 水島正二郎に変更。
- ・兼任講師 竹田功の就任辞退に伴い、「社会的養護」、「社会的養護内容」の担当者を兼任講師 田邊哲雄に変更。
- ・兼任講師 生野桂子 の就任辞退に伴い、「教育課程論」の担当者を兼任講師 八田幸恵に変更。
- ・兼任講師 立脇一美の就任辞退に伴い、「子どもの保健Ⅰ」の担当者を兼任教授 藤岡弘季と兼任講師 藤田敬之助に変更。授業形態をオムニバスに変更。

【令和元年度】

- ・兼任講師 退共の就任辞退に伴い、「保育教育課程論」の担当者を専任教授 橋川喜美代に変更(平成30年11月AC教員審査済)。
- ・専任教授 生野金三の退職に伴い「特別活動の指導法」「教育の方法と技術」「教職実践演習(小学校)」の担当者を兼任講師 藤原靖浩に変更。(平成31年度第1回専任教員採用等設置計画変更審査(AC教員審査)を受審中)
- ・専任教授 生野金三の退職に伴い「初等教科教育法(国語)」「初等教材研究A(国語)」の担当者を兼任講師 田中俊弥に変更。(後任の専任教員が決定次第AC教員審査予定)
- ・兼任教授 伊倉宏司の退職に伴い、職位を兼任講師に変更。「総合教養Ⅳ－栄養－※」の担当者を兼任講師 大迫雅人に変更。
- ・兼任教授 大川尚子の退職に伴い、「総合教養Ⅲ－健康の世界－※」の担当者を兼任教授 斉藤ふくみに変更。
- ・兼任教授 相良多喜子の退職に伴い、「総合教養Ⅳ－栄養－※」の担当者を兼任教授 榊秀之に変更。
- ・兼任准教授 竹橋洋毅の退職に伴い、「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」の担当者を兼任教授 亀島(最上)信也に変更。
- ・兼任講師 森明彦の就任辞退に伴い、「人権教育」の担当者を兼任准教授 松村歌子に変更。
- ・兼任教授 森禎章の就任辞退に伴い、「基礎科学概論※」の担当者を兼任講師 森尚影に変更。
- ・兼任教授 渡辺正仁の就任辞退に伴い、「化学入門」の担当者を兼任講師 伊倉宏司に、「生命科学概論※」の担当者を兼任教授 早崎華に変更。
- ・兼任講師 津吉哲士が准教授に昇任。
- ・兼任講師 間井谷容代の退職に伴い、「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」の担当者を兼任講師 松本敦に変更。
- ・兼任教授 藤岡弘季の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」の担当者を兼任准教授 松村歌子に変更。
- ・兼任講師 北岡かおりの退職に伴い、「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」の担当者を兼任教授 峯松正敏に変更。
- ・兼任講師 津田恭亮が准教授に昇任。
- ・兼任助教 中山淳の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」の担当者を兼任助教 本多伸行に変更。
- ・兼任教授 甲斐悟の就任辞退に伴い、「基礎ゼミナールⅠ」「基礎ゼミナールⅡ」の担当者を兼任講師 工藤芳幸に変更。
- ・兼任准教授 山路純子が教授に昇任。
- ・「幼児理解の理論と方法」の担当者に兼任講師 村上凡子を追加。オムニバスに変更。
- ・兼任講師 宿谷(金児)仁美の就任辞退に伴い、「外国語で親しむ心理学」の担当者を兼任講師 松本敦に変更。
- ・兼任講師 八田幸恵の就任辞退に伴い、「教育課程論」の担当者を兼任講師 中西修一朗に変更。
- ・兼任講師 液能満の就任辞退に伴い、「英語コミュニケーションⅢ」「英語コミュニケーションⅣ」の担当者を兼任講師 加藤典子に変更。
- ・兼任講師 藤田敬之助の就任辞退に伴い、「子どもの保健Ⅰ※」の担当者を兼任教授 藤岡弘季 単独に変更。
- ・兼任講師 的場輝佳の退職に伴い、「総合教養Ⅰ－河内学－※」の担当者を兼任教授 水間智哉に変更。
- ・兼任講師 村上凡子の就任辞退に伴い、「保育教職実践演習(幼稚園)」の担当者を3名から、専任教授 橋川喜美代と専任准教授新川泰弘の2名に変更。
- ・「子ども家庭支援の心理学」新設、担当者を専任准教授 築地(吉岡)典絵を予定。(令和3年10月開講就任予定)
- ・「幼児特別支援教育論」新設、担当者を専任准教授 堀田千絵を予定。(令和3年10月開講就任予定)
- ・「乳児保育Ⅱ」新設、担当者を兼任講師 鎌田次郎を予定。(令和3年4月開講就任予定)
- ・「児童特別支援教育論」新設、担当者を専任准教授 加藤美朗を予定。(令和3年10月開講就任予定)

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上 の必要教授数
10 名	5 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在（報告時）の状況				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
13	6	3	0	22	12	6	3	0	21
(10)	(6)	(2)	(0)	(18)					
現在（報告時）の完成年度時の状況					現在（報告時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)
12	6	3	0	21	12	6	4	0	22
[Δ 1]	[0]	[0]	[0]	[Δ 1]	[Δ 1]	[0]	[1]	[0]	[0]

- (注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「**現在（報告時）の完成年度時の状況**」には、「**現在（報告時）の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65 歳	7 名	7 名

- (注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 [] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{21}{22} = \boxed{95.45} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{7}{21} = \boxed{33.33} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由		
		【該当なし】						
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計

- (注)
- ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 - ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	教授	岡本 雅子	選択	幼保小連携Ⅰ（現状と課題）※	①	平成29年3月31日付で一身上の都合により辞任(29)							
			選択	保育原理	①								
			選択	保育内容総論	①								
			選択	保育指導の実際※	①								
			選択	教育実習（幼稚園）	①								
			選択	教育実習事前事後指導（幼稚園）	①								
			選択	保育教職実践演習（幼稚園）	①								
			必修	研究演習Ⅰ	①								
			必修	研究演習Ⅱ	①								
			必修	研究演習Ⅲ	①								
2	教授	生野 金三	選択	特別活動の指導法	②	平成31年3月31日付で一身上の都合により辞任(元)							
			選択	教育の方法と技術	②								
			選択	初等教科教育法（国語）	②								
			選択	初等教材研究A（国語）	②								
			選択	教職実践演習（小学校）	②								
			必修	研究演習Ⅰ	①								
			必修	研究演習Ⅱ	①								
			必修	研究演習Ⅲ	①								
必修	研究演習Ⅳ	①											
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)								
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)						
2	人	必修	8	科目	必修	8	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	12	科目	選択	7	科目	選択	5	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	20	科目	計	15	科目	計	5	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計(D) + (F)				後任補充状況の集計(E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
2	人	必修	8 科目	必修	8 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	12 科目	選択	7 科目	選択	5 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	20 科目	計	15 科目	計	5 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)} + (F)}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{22} = \boxed{9.09} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		【該当なし】							
合計				後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a) + (b) + (c)		①の合計数(a)		②の合計数(b)		③の合計数(c)	
0	人	必修	0 科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	0 科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	0 科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<ul style="list-style-type: none"> ・ 平成29年3月31日付で岡本雅子教授が辞任したことに伴い、平成28年度第4回専任教員採用等設置計画変更審査(AC教員審査)を経て直ちに後任補充を行った。なお、後任者は平成29年4月より着任しており教育研究活動に支障は生じていない。また、学生へは平成29年度学生便覧等を通じて周知しており、支障は生じていない。(29) ・ 平成31年3月31日付で生野金三教授が辞任したことに伴い、平成31年度第1回専任教員採用等設置計画変更審査(AC教員審査)を受審中である。なお、審査による適合判定を得るまでの経過措置として、平成31年4月より兼任教員を補充して対応しており、教育研究活動に支障は生じていない。また、学生へは令和元年度学生便覧等を通じて周知しており、支障は生じていない。(元)
--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時 (平成28年)	1.「幼児音楽」については、第15回目で発表会を行うようシラバスに記載されているが、他科目は15回の授業を行った後に定期試験を行うようシラバスに記載されていることから、「幼児音楽」についても授業時間を適切に確保した上で試験(発表会)を行うこと。	留意事項 指摘に応じて、当該シラバスの修正を行った。(28)	履行済
認可時 (平成28年)	2.免許法に対応した本学科の開設科目の単位数が、免許上必要な単位数に対して多い。例えば、特別支援学校教諭一種免許に必要な科目のうち、「免許状に定められることとなる特別支援教育領域以外の領域に関する科目」区分は、免許法上必要な単位数は5単位であるにもかかわらず、本学科は必修科目10単位(5科目)、選択科目10単位(6科目)を予定している。このことそのものが問題とは言えないが、免許法に対応した科目の履修が増えることで、本学科の研究対象である「教育学」を学ぶための科目の履修が少なくなることが懸念されるため、本学科の目的を踏まえた教育課程の履修が可能となるよう、学生に対し適切に履修指導を行うこと。	留意事項 指摘に応じて、学生へのガイダンスにおいて免許法に応じた科目にのみ偏ることなく、幅広く「教育学」関連の専門科目の履修も行うように指導した。今後も学生に対し、履修指導を適切に行っていく。(28)	履行済
認可時 (平成28年)	3.「教育学入門」と「教育原論」は両科目とも1年後期の選択科目として配置しているが、教育学部教育学科の設置の趣旨を踏まえ、より基礎的な科目である「教育学入門」は1年前期の開講科目に改めること。	留意事項 指摘に応じて、「教育学入門」を1年前期に開講するよう改めた。(28)	履行済
認可時 (平成28年)	4.ほぼ全ての実習科目を春季又は夏季休暇中に行う計画であるが、学生生活に過重な負担を与えることがないよう、学期中の実施も含めて改めて実施時期について検討し、必要に応じて適切に改めること。	留意事項 指摘に応じて、実習科目の開講が特定の時期に集中せぬよう、実習先と調整を行っていく。また、実習先開拓時にも特定の時期に実習が集中せぬよう交渉を進めていく。(28)	履行済

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
認 可 時 (平成28年)	5.「保育実習Ⅱ」と「保育実習Ⅲ」の授業科目の概要について、実習先以外の記載が全て同じであることから、各科目の違いを明確にし、授業科目の概要を適切に修正すること。	留意事項 指摘に応じて、「保育実習Ⅱ」と「保育実習Ⅲ」の内容の違いが明確になるように概要の記述を改めた。併せて連動する「保育実習指導Ⅱ」及び「保育実習指導Ⅲ」の授業科目の概要も適切に修正した。(28)	履行済
認 可 時 (平成28年)	6.教員の補充を必要とされた2授業科目については、科目開講時までには教員を補充すること。	留意事項 指摘のあった2科目のうち、1年生後期に開講される「幼児体育」については非常勤講師を補充した。また3年生後期に開講予定の「知的障害者の指導基礎論」についても開講時までには担当者のAC教員審査を受審予定である。(28) 「知的障害者の指導基礎論」についても開講時までには担当者のAC教員審査を受審予定である。(28) 専任准教授 堀田千絵について、補正申請に係る教員審査結果に伴い、「知的障害者の指導基礎論」を担当科目に追加(平成30年1月AC教員審査済)。(30)	履行済
設置計画履行状況 調 査 時 (平成29年)	教育学部教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見 退職等による後任補充時において、教育課程の維持を前提に、公募、他学部他学科からの異動等も含めて、教育・研究業績、経験等を適切に審査し、適任者を確保することで年齢構成の偏りを是正する。(29)	履行中
設置計画履行状況 調 査 時 (平成30年)	教育学部教育学科において、定年規程に定める退職年齢を超える専任教員数の割合が比較的高いことから、定年規程の趣旨を踏まえた適切な運用に努めるとともに、教員組織編成の将来構想について検討すること。	改善意見 退職等による後任補充時において、教育課程の維持を前提に、公募、他学部他学科からの異動等も含めて、教育・研究業績、経験等を適切に審査し、適任者を確保することで年齢構成の偏りを是正する。(30)	履行中 現状、設置計画による教員配置の状況下において未履行(30)
設置計画履行状況 調 査 時 (平成31年)	該当なし		

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<教育学部学部 教育学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>「設置の趣旨を記載した書類」</p> <p>X 実習の具体的計画</p> <p>4 実習水準の確保の方策（保育実習）</p> <p>4 実習水準の確保の方策 （幼稚園教育実習、保育実習、小学校教育実習）</p>	<p>本学科の研究対象である「教育学」を学ぶための科目の履修を確保するために、保育実習の受講資格を見直した。 (28)</p> <p>「教育職員免許法施行規則」の改正及び「指定保育士養成施設の指定及び運営の基準について」の一部改正に伴い、受講資格並びに具体的指定科目の一部を見直した。(元)【別紙1】</p>

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>FD委員会（平成18年度～）※平成23年度より授業評価委員会（平成18年度～）を統合した。【別紙2】</p> <p>SD委員会（平成26年度～）※平成29年度より教員も構成員となった。【別紙3】</p> <p>b 委員会の開催状況</p> <p>FD委員会は全4回開催した。</p> <p>SD委員会は全1回開催した。その他ワーキンググループで別途検討がなされた。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>FD委員会は、FD活動の推進、授業改善の方策、授業評価、教員の研修計画立案・実施などに関連する事項を取り扱う。</p> <p>SD委員会は、SDの企画立案及び実施に関する事項、職場内外の研修に関する事項、その他SDに関する事項を取り扱う。</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>1. FD委員会</p> <p>(1) 学科の特徴や問題点を踏まえたFD活動の目標設定と実施</p> <p>(2) 自己点検表による授業の自己分析の実施</p> <p>(3) 兼任講師の教育活動表彰に関すること</p> <p>2. IR・FD・アドミッション推進室（旧、教育開発支援センター）【別紙4】</p> <p>(1) 授業アンケートの実施</p> <p>(2) 教員研修会の計画・実施</p> <p>(3) 学外FD研修会への参加奨励（参加費・交通費の補助）</p>
--

3. SD委員会

(1) 財務勉強会の実施

b 実施方法

1. FD委員会：学科毎のFD活動の取組み報告と、授業の自己分析実施の企画と遂行。授業アンケート結果より兼任教員の顕彰検討。
2. IR・FD・アドミッション推進室：全教職員（主に専任）を対象に全学的なFDに関するプログラムを企画し実施する。
3. SD委員会：全職員及び教員（主に専任）を対象に研修会を企画し実行する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

1. FD委員会

- (1) 学科で当該年度におけるFD活動計画を立案し第2回委員会でその内容を報告。第3回委員会での中間報告、その後、最終結果として活動内容と成果を報告書にまとめ、全教員へ公開した。
 - (2) 専任教員において、担当1科目を対象として秋学期授業アンケート結果を参考に自己点検表を作成し、そのプロセスを通じて授業改善・振り返りを行う。
 - (3) 6学科のFD活動の計画書でPDF冊子を作成し、学内の各種会議で報告を行った。
また、活動の報告書はPDF冊子を作成した。
- #### 2. IR・FD・アドミッション推進室（旧、教育開発支援センター）
- (1) 秋学期の授業アンケートの実施計画を立案し実施した。
 - (2) 4月初めには教学方針の変更に関する研修会を行い、136名が参加した。併せて新任教員10名に対して教学について別途研修会を実施した。
 - (3) 退学率抑制を焦点においたエンロールメントマネジメントをテーマに教員研修会を実施し、118名が参加した。
 - (4) 月に1回程度の頻度で専任教員向けに学内情報共有システム（サイボウズ）により学外研修会の案内を発信し、延べ10名の教員が参加した。

3. SD委員会

- (1) 専任教職員を対象に財務勉強会を実施し、参加者の内41名が教員であった。
本学の財務状況についての報告が法人本部より行われ、経営的視点をより深める機会となった。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD委員会では、学生の授業アンケート結果をふまえた自己点検表による授業の振り返りを行い、改善へつなげるプログラムを推進している。また、学科におけるFD活動の目標設定と実施を通じて、組織的な活動が展開できている。

IR・FD・アドミッション推進室では、教員の自己啓発に資する取組みとして重要と考えるテーマで研修会を開催している。

また、学生による授業アンケートを実施し、授業改善のための資料のひとつとして教員にフィードバックしている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

授業アンケートを秋学期（11/14～1/15）に全623科目を対象に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートを実施した全524科目の個人別・科目別結果は、担当教員が自ら確認し、授業内でフィードバックに努めた。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

該当なし

② 審議状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

【別紙5】

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

本学では、「自己点検・評価委員会」（以下「委員会」）を設置している。「大学自己点検・評価規程」により原則として、3年ごとに本学の教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備等の状況について、全学的な自己点検・評価を実施している。全学的な自己点検・評価は、日本高等教育評価機構の定める基準を準用することとし、その結果は、学内教職員に共有するとともに、大学ホームページ上に公表している。

平成27年度は認証評価機関（日本高等教育評価機構）を受審しており、評価結果とともに報告書全文を平成28年4月にホームページ上で公表した。

なお、当該対象学部を含む自己点検・評価については、上記規程に基づき令和元年度に実施する予定である。

b 公表方法

従来より自己点検・評価結果は、全教職員で情報を共有すると共に大学ホームページ上でも公表している。当該対象学部を含む自己点検・評価結果は、報告書を刊行するとともに令和2年5月頃に大学ホームページ上での公表を予定している。

③ 認証評価を受ける計画

令和4年度までに認証評価機関（日本高等教育評価機構（予定））の評価を受ける予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 ・ 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年 8 月 1 日)

b 公表無の場合の特段の理由 ()

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。